福祉たすけあい基金 BOOK 増刊

生活協同組合ユーコープ　×　公益財団法人かながわ生き活き市民基金

新型コロナ対応　緊急応援助成

第３次の助成団体紹介

子ども食堂、地域食堂

フードバンク、フードパントリー

学習支援、子育て支援、居場所

セミナー・相談事業、障がい者支援

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金
Kanagawa Lively Citizens Fund

目　次

公益財団法人　かながわ生き活き市民基金とは…… 4
新型コロナ対応緊急応援助成について　…… 5
新型コロナ対応緊急応援助成（講評）　…… 6

【新型コロナ対応緊急応援助成　助成団体】
＜子ども食堂、地域食堂＞　21 団体
駒岡丘の上こども食堂…… 7
平安・ふれあい食堂　…… 8
NPO 法人 宮ノマエストロ　…… 9
特定非営利活動法人 湘南食育ラボ…… 10
あさみぞみんなのコミュニティ　…… 11
ドリームセンターこどもカフェ　…… 12
幸町こども食堂おいしいねの会　…… 13
キッズカフェ杉田 …… 14
みんなでごはん　…… 15
一般社団法人ふらっとカフェ鎌倉　…… 16
いわとともしびチーム　…… 17
大家族ふるさと食堂　…… 18
こども食堂ハレの日ケの日　…… 19
てらこや食堂ラッキーズ　…… 20
かわさきこども食堂ネットワーク　…… 21
特定非営利活動法人報徳食品支援センター　…… 22
長後こども食堂　…… 23
ひばり野のなかま達　…… 24
コガスクール　…… 25
地域交流サロンさざなみ　…… 26
ふれあいっこ三ツ沢　…… 27

＜フードバンク、フードパントリー＞　7 団体
特定非営利活動法人 サテラ　…… 28
たすけあい　…… 29
特定非営利活動法人 ワンエイド …… 30
フードコミュニティ　…… 31
フードバンク浜っ子南　…… 32
青葉フードシェアネットワーク　…… 33
特定非営利活動法人神奈川フードバンク・プラス　…… 34

＜学習支援、子育て支援、居場所など＞　16 団体
育ち合い広場　てとてとて　…… 35

Art Lab Ova …… 36
TIE トマトマの会 …… 37
NPO 法人 ワーコレたんぽぽひろば …… 38
特定非営利活動法人 アスリード …… 39
ラフェリーチェ …… 40
特定非営利活動法人まんま …… 41
そといく会 …… 42
青少年育成支援の会 …… 43
横浜みどりの学校　ひまわり …… 44
フリースペースほっぷ …… 45
NPO 法人 夢・コミュニティ・ネットワーク …… 46
星が丘一丁目寺子屋 …… 47
弥平のつどい …… 48
箱根町無料勉強会みるふぃ～ゆ …… 49
ガーデン山まちづくり協議会 …… 50

＜セミナー・相談事業、障がい者支援など＞　20 団体

一般社団法人 みんなのレモネードの会 …… 51
特定非営利活動法人 ひだまりの森 …… 52
親と子のふれあい自遊塾 …… 53
特定非営利活動法人 湘南 DV サポートセンター …… 54
特定非営利活動法人 ファミリア …… 55
NPO 法人 しえんのまなび舎…… 56
認定 NPO 法人 アール・ド・ヴィーヴル …… 57
一般社団法人 湘南学校教育研究所…… 58
特定非営利活動法人 ＤＶ対策センター …… 59
リンパ浮腫ネットワークジャパン …… 60
聖マリアンナ医科大学病院乳がん体験者の会マリアリボン …… 61
特定非営利活動法人かまくら笑ん座 …… 62
ＰＤトライ …… 63
特定非営利活動法人神奈川県中途失聴・難聴者協会 …… 64
特非)外出支援サービスワーカーズ・コレクティブハミング …… 65
ユーコープくらしたすけあい活動「ちょボラ」 …… 66
特定非営利活動法人エキープ …… 67
NPO 法人　子供の人権を守る会 …… 68
NPO 法人　ワーカーズ・コレクティブ　ケアびーくる …… 69
ぐるーぷ・ちえのわ　（ちえのわ第２ホーム） …… 70

寄付文化の拡がりに皆様のご協力を ～市民基金を支える寄付方法～ ……71

公益財団法人　かながわ生き活き市民基金とは・・・

◆ 成り立ち

食料・環境・福祉の分野での問題解決を、市民参加型ですすめてきた生活クラブ生活協同組合（1971 年創立）は、90 年代初頭から、市民が時間・知恵・労力・いくばくかのお金を出し合って当事者となる参加型福祉運動を実践してきました。その担い手は主にワーカーズ・コレクティブという働き方を行う女性たちでした。

1990 年代当時、これら女性たちの意志ある社会貢献事業に資金を貸す金融機関は無いため、自前の財源による市民バンク（「女性・市民コミュニティバンク」の前身）をつくり、1998 年から市民事業への融資を始めました。

生活クラブ生協は 2003 年に組合員に呼びかけて、福祉たすけあいにかかわる市民の福祉活動・非営利の市民事業の基盤造成・活動支援を行うための組織「生活クラブ福祉たすけあい基金」を設立しました。そして「生活クラブ福祉たすけあい基金」の 10 年間の助成活動の実践を経て、2013 年にはこの事業を地域社会の中に押し出し、「公益財団かながわ生き活き市民基金」を設立しました。

◆ ミッション

＜投資して利潤を稼ぐことが経済＞という考えが現代社会に蔓延しています。つまるところ、人々の社会生活は「経済成長」に付き従うべきだという主張につながります。しかし一方で、豊かな生活をつくることが経済の目的で、お金はそのための手段であるという考え方があります。人と人との関係の中に「温かいお金」を循環させようという主張です。

私たちの社会は、格差・貧困が野放図にすすみ、個人の権利や尊厳が、労働・教育・環境・平和など生活の中心分野で損なわれつつあります。女性や若者、こどもや障がいを持つ人が生きにくい社会になっています。

かながわ生き活き市民基金は、ひとりでは支えきれない地域社会の課題の解決を、お互い様から始め、更に相互扶助に留めず、人・団体・活動を、お金や情報の循環でつなぎ、市民が持つ知恵・労力・時間・いくばくかのお金などの社会資源を拠出し合い、市民が共に力を合わせ、自立した「地域市民社会」をめざします。

◆基金の事業・活動

かながわ生き活き市民基金の中心事業は、市民による寄付造成とこれを財源とした助成を通じた市民活動・事業への支援です。現在３つの助成プログラムを行っています。

福祉たすけあい基金（2015 年度から通常型助成とスタート助成を実施）は、1 万人を超える意思ある生活クラブ組合員の月 100 円寄付を基本財源とした助成プログラムです。事業指定助成プログラム「エラベル」は、登録した団体が寄付募集活動を行い、財団はこれを支援します。オーダーメイドプログラム（2015 年助成の「子どもいきいき助成」）は寄付拠出者が助成プログラムを指定します。

助成事業を中心に、研修セミナー事業、相談・助言事業、広報発行事業を行っています。

新型コロナ対応緊急応援助成について

新型コロナウィルス感染が拡大し、子どもや高齢者への影響が広がっています。社会的に弱い立場の人々にしわ寄せがいき、生活基盤を失う人が増え、生活困窮者が増えています。このような情勢のなかで、私たち、かながわ生き活き市民基金は、緊急助成プログラムを設置し、子どもや社会的弱者への支援活動を行っている市民活動団体への緊急応援助成を実施します。

対象となる団体、事業

＜対象となる団体＞

神奈川県内に事務所を置く非営利団体（法人格の有無は問いません）。

＜対象となる事業・活動＞

新型コロナウィルスの影響が長期化する中、地域で課題解決に取り組む活動・事業を支援します。（例えば、以下の活動を行っている団体を支援します）

① 地域のフードバンクによる生活困窮者への食料支援活動
② 子ども食堂・地域食堂・居場所運営団体等による支援活動
③ 無料学習支援団体による、オンライン教材作成、オンライン学習など。
④ 子どもを持つ母親を対象とした相談事業
⑤ DV 被害者への相談・支援活動
⑥ 障がい者、高齢者などの生活を支援する活動
⑦ 外国人への相談・情報提供、食支援活動
⑧ 病気により被っている悩みや生活上のハンディを克服することを目的とする、当事者または支援者の活動。
⑨ その他、本プログラムの趣旨に合った事業・活動

助成額

＜第 3 次＞

① 助成総額　予算 500 万円、実績 500 万円　② 助成上限額　10 万円（1 団体）
③ 事業対象期間　　2020 年 10 月から 12 月に実施する事業・活動

助成の原資について

本助成金は、生活協同組合ユーコープからの寄付による「ユーコープ新型コロナ基金」（オーダーメイド基金）として実施します。

選考委員（敬称略）

委員長	手塚　明美	一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ理事長
	田中　夏子	イタリア協同組合研究者/ 農業者
	川岸　卓哉	弁護士/（特非）原発ゼロ市民共同かわさき発電所理事長
	友澤　ゆみこ	（特非）ピッピ・親子サポートネット　理事長
	小田　鈴子	元逗子市副市長/元逗子市議
	高村　文子	横浜ＹＭＣＡ　国際・地域事業担当チーフディレクター
	鈴木　薫	かわさき生活クラブ生協理事
	君島　周子	かながわ生き活き市民基金理事・生活クラブ神奈川副理事長
	里美　里奈	生活協同組合ユーコープ理事（特別選考委員）

新型コロナ対応緊急応援助成（第３次）選考　講評

誰もが安心して暮し続けられる社会の実現をめざして

2021 年 2 月
生活協同組合ユーコープ
理事　里見　里奈
特別選考委員

生活協同組合ユーコープは、「新型コロナ緊急応援助成（第３次）」をかながわ生き活き市民基金と共催し、64 の市民団体へ総額 500 万円の助成を行いました。今回の助成にあたっては新型コロナウイルス感染拡大により社会的に弱い立場である人々への影響が懸念される中、ユーコープでは「新型コロナウイルス緊急支援募金」を呼び掛け、多くの組合員から託していただいた募金により実現することができました。ご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

選考にあたり、多くの団体から申請があり、地域の課題解決に取り組み力強く市民活動をされている団体の皆様の活動内容に感銘を受けました。新規の申請団体が３３団体もあり、本助成への共感や関心の広がりを実感しますが、コロナ禍での活動の難しさも申請数に繋がっているのかと思います。地域食堂や居場所づくり・学習支援など、地域のくらしを支える団体の活動自粛から活動再開への準備にあたり、新たに発生した課題などが申請書類から感じられました。新型コロナウイルス感染防止対策が日常になりつつある中で、今後も継続して活動するために必要な資材購入など、今までとは異なる様式を模索しながら一歩ずつ踏み出している印象を受けました。選考委員のメンバーで申請書類を一つひとつ精査し、助成総額に応じた助成となるように議論を尽くしました。

今回、ユーコープの役職員や活動リーダー層の紹介から申請に至った団体もあり、活動団体とかながわ生き活き市民基金やフードバンクかながわとの「つながり」づくりの一翼を担うことができたことも嬉しく思っています。誰もが安心して暮し続けられる社会の実現がユーコープの願いです。これからも地域社会の支援に役立つ取り組みを続けてまいります。

この度は、「新型コロナ緊急応援助成（第３次）」へご応募いただきありがとうございました。助成団体の皆様のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

駒岡丘の上こども食堂（横浜市）　代表　七田　直樹

助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
2016年4月より活動開始

団体の目的・活動内容
こどもの貧困対策の一助となればとの思いから
こども食堂を開始、月2回（第1、3木曜日）開店。
こども食堂としての食事の提供、フードバンクその他との提携による食材等の配布（ミニフードパントリー）

活動歴
2016年4月より、2020年9月時点で108回実施

団体情報
住所：〒230-0071
横浜市鶴見区駒岡4-28-5
横浜市駒岡地区センター内
TEL：045-571-0035
E-mail：shichida_n@komaoka-cc.com
URL：http://komaoka-cc.com

★助成した事業・活動
こども食堂

★内容
月2回開催する【駒岡　丘の上こども食堂】
開店時にお弁当、その他食材等を配布

★助成対象
食材費（お弁当、飲料）

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

第1次に引き続き助成頂き、大変ありがとうございました。8月より、以前同様の形式にてのこども食堂開店となりましたが、依然としてコロナ感染拡大は収まるところを見せず、参加者、ボランティア双方の感染リスクの軽減を目途に、月2回開店の中の1回を調理時間の短縮等を鑑みて、外部からのお弁当調達、参加者に提供する飲み物も個別ボトルへの変更等々、経費が嵩む中での、ご支援は活動内容の変更、規模の縮小等を行わずに、継続できる大きな支えとなりました。

こども食堂の活動自体が、密が避けられない活動形式である中、如何にして内容の変更をミニマイズして感染リスクを避けるか？は今後も大きな課題となっております。　今後とも宜しくお願い致します。

平安・ふれあい食堂（横浜市）　代表　河西　英彦

助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
2019年5月設立

団体の目的・活動内容
子どもの貧困問題の中、単発的に開催していた子ども食堂を、家族全員で団欒を経験して頂こうと「平安・ふれあい食堂」として全ての世代の参加を受け入れることにしました。
正に大家族の食事、にぎやかで楽しい食卓でした。コロナ前は、子どもの居場所・学習教室・育児相談・子育て相談等健全育成と高齢者サロンが活動です。

活動歴
子供の居場所・小学生学習支援・子育て相談会・地区懇談会（小中学生）、高齢者サロン・高齢者の居場所・ボッチャ教室

団体情報
住所：〒230-0031
横浜市鶴見区平安町2―2－5
TEL：090－3246－4558
FAX：045－521－5931
E-mail：h-kasai@me.point.ne.jp

★助成した事業・活動
ふれあい食堂、子どもの居場所

★内容
コロナ感染防止のため、持ち帰り方式での食提供、年末・おせち料理特別提供

★助成対象
食材費、容器代

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ下での子供食堂、本来の目的は個食や貧食の解消ですが、個食は支援できず残念です。
少なくとも工夫を凝らしたデザートは貧食の手助けが出来たのではないかと思います。
正月の一家だんらんはおせち料理を囲んでの食事です。少なくとも20世帯に体験して頂けたと思います。
小学校2年生全体にデザートの大学芋を提供、子供食堂の存在をアピールできました。 このように地域の子供の健全育成に食を通じて貢献できるのも、この補助金の支えがあって出来ることと感謝しています。

食堂からお持ち帰り方式へ

子供食堂アピールのため大学芋の提供

おせち料理

NPO法人 宮ノマエストロ　（横浜市）　代表　高橋　裕子

助成金額　76,000円

団体紹介

設立年月
2018年9月

団体の目的・活動内容
すべての世代が緩やかに繋がり、困ったときには支えあえ、お互いを大切にしながら地元への愛着を深めることを目的とします。

活動歴
横浜市介護予防補助事業、子育て支援、フードパントリー、子ども食堂、各種イベント他

団体情報
住所：〒245-0013
横浜市泉区中田東4-59-41
TEL：045-884-0246
Mail：miyanomaesutoro@yahoo.co.jp
URL：https://miyanomaesutoro.amebaownd.com/

★助成した事業・活動
子ども食堂・地域の居場所

★内容
一人暮らし高齢者、子育て世帯への食支援事業・　活動

★助成対象
弁当代、食材費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍でも、地域との交流を絶やさず顔の見える活動ができたと感じ、感謝いたします。

後日、お弁当が美味しかったのでレストランに行ったという方もおられ、高齢者には地域との交流、お店は収入の一部・新規顧客集客、私たちは社会貢献、テラスを知ってもらえるなど三方に良い取り組みと考えます。

フードパントリーは企業様からの寄付品とともに卵を地域の一人親世帯、高齢者世帯、コロナで困窮した家庭対象にお配りしました。

助成がなければパントリーは開けなかったので感謝しています。

特定非営利活動法人 湘南食育ラボ（藤沢市）　代表　小田　拓也

助成金額　50,000円

団体紹介

設立年月
2013 年 1月

団体の目的・活動内容
成長期である子ども及びその保護者等に対して、食に関する教育の推進事業を行い、安全・安心な食生活により人間力を養い、子どもの健全育成に寄与することを目的とし、子どもの居場所を運営する団体と協力

活動歴
2013 年 1 月 NPO 法人湘南食育ラボ設立
2013 年 7 月 学校法人湘南学園と『食に関する教育事業』等に関する「協定書」締結
2013年 9 月 学校法人湘南学園のカフェテリア運営を受託（現在に至る）
2018年 8 月 大磯中学校給食支援事業
2020年 3月 かながわSDGsパートナー登録（第3期登録）

団体情報
住所：〒251-8505
藤沢市鵠沼松が岡3-4-27
TEL：0466（90）5474
URL：http://www.shonan-slab.com/

★助成した事業・活動
放課後での給食支援
★内容
肢体不自由児へのお弁当の提供
★助成対象
食材費、運搬費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度助成を受けることが出来ましたことにより、緊急事態宣言解除後から暫く経ったこの3か月も同じ価格でお弁当を提供することができ、多くの児童や保護者、職員の方々に感謝の声をいただきました。心より感謝申し上げます。今現在もコロナウィルス終息の見通しが立たない中、毎日のお弁当作りがなくなることで保護者の方の負担も少しは減っている、との声もいただき私たちも大変喜ばしく思っています。

そんな中でラウレアに通う子どもたちの中には通常の弁当では食べられない児童が多くいることに気づきました。今後はそのような子どもたちにもおいしく食べていただけるようなメニューを開発したり、食べやすい食形態での弁当提供など今まで以上に幅広い人たちの役に立つ組織になっていきたいと考えております。

このようなご時世の中助成をいただき、誠にありがとうございました。これからも一人でも多くの子どもたちの笑顔に繋がる活動を目指していきます！

あさみぞみんなのコミュニティ（相模原市）　代表　永野　寿郎

助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
2017年8月

団体の目的・活動内容
・福祉的課題を抱える子どもたちへの食事提供及び宿題等に関する学習支援を実施
・食を通じてのコミュニティにより、社会との共生を学ぶための居場所つくり
・こどもからお年寄り、障害のある方問わず、異世代が交流する地域コミュニティを確立する

活動歴
【開催頻度】
月2回第2と第4日曜日の午前11時から14時
【開催場所】
下原公会堂

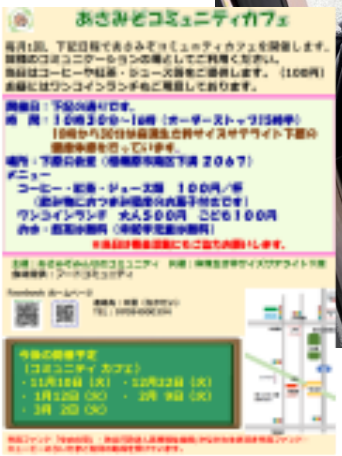
団体情報
住所：相模原市南区
TEL：090-49131-3517（中臺）
Mail：asamizo.community.180701@gmail.com
URL：http://www.sagamiportal.com/hp/

★助成した事業・活動
コミュニティ食堂、居場所活動
★内容
お弁当の無料配布、フードパントリー
★助成対象
感染対策費、食材費、スタッフ活動費、広報費等

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

新型コロナの影響で外出自粛が発出される中で、少しでも地域のコミュニケーションが図れるプラットホームづくりを心掛けました。食堂の開催は感染防止のため中止しましたが、お弁当の配布や無料のフードパントリーを実施、毎回30～50名の参加がありました。

10月からは従来の食堂の他、平日に1度「あさみぞコミュニティカフェ」を開催（10：00～16：00）、午前中は高齢者のための健康体操、お昼にはワンコインランチ・その他の時間帯はコーヒーなどを100円/杯で提供するなどで新たなコミュニティの場を構築しました。



ドリームセンターこどもカフェ（藤沢市）　代表　藤村　良彦

助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
2005年4月

団体の目的・活動内容
2005年藤沢市において子供たちの交流の場ができたことにより、親睦と子供たちの健康的な成長を目的として活動を始めました。

活動歴
2017年1月より毎月1回子供たちの夕食を無料で提供する「こどもカフェ」を開始。2019年よりフードバンクかながわより提供いただき、「こどもカフェ」の充実に加え、生活困窮者への食糧の提供を始めました。

団体情報
住所：　〒251-0052
藤沢市藤沢545－48－101
オリーブチャペル内
TEL：　090-1052-1730
Mail：　f-olive@d3.dion.ne.jp

★助成した事業・活動
こどもカフェ、子ども食堂

★内容
教会内での子供たちの勉強の場、こどもカフェ

★助成対象
こどもカフェ・クリスマスイベント等食材費
感染対策費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

例年１回だけの開催イベントを、複数回行うことで密にならないよう配慮して行うことができました。

複数回の開催はボランティアの確保や様々な面で労力が大きいため、中心スタッフは当初消極的でしたが、安全性とボランティアを確保して実施することができました。　少人数での複数回開催により、ボランティアの意識も高まり、サポートしてくださる方々が増し加わりました。

お菓子の家作りもクリスマス会も、例年よりは時間短縮となりましたが、子どもたちの笑顔溢れる時間となりました。親子参加される方も多く、親子での楽しい時間を過ごされていました。　12月のこどもカフェはクリスマスの特別メニューを準備することができました。

たくさんのご支援をありがとうございました。

幸町こども食堂おいしいね（茅ヶ崎市） 代表　岸　達男

助成金額　69,100円

団体紹介

設立年月
2019年6月

団体の目的・活動内容
こどもが地域の中で見守られ、安心してご飯を食べることができる場所です。子育てと仕事、子育てと介護など時間に追われ忙しい保護者の方たちを応援し、支えたいと思っています。

活動歴
月1回のこども食堂の開催

団体情報
開催場所　茅ケ崎市幸町24-6　LAST50セント
TEL：　070-6516-8042（代表　岸達男）
Mail：　saiwaikodomo2@gmail.com
URL：　Facebook 幸町こども食堂おいしいね

★助成した事業・活動
子ども食堂

★内容
テイクアウト弁当と食材配布活動

★助成対象
食材費、会場費など

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

長いコロナ禍の中で、以前のようにワイワイがやがやの食堂が再開できるのか？そんな中で、密にならない形で食堂を模索していたところ、ご近所の旅館さんから食堂に使っていいよと申し出があり、本当に喜んで11月12月に人数を限定し食堂を再開しました。これまでテイクアウトばかりでしたが、9か月ぶりで果たして申し込みはあるのか？

待ち望んできてくれた親子たち、笑顔あふれる子どもたち、普段家では野菜など食べない子どもも、ニンジンやきくらげまでパクパク。みんなで食べるご飯はおいしいね。本格的な食堂の再開を待ち望みます。

キッズカフェ杉田（横浜市）　代表　久保田　顕

助成金額　46,100円

団体紹介

設立年月
2017年4月

団体の目的・活動内容
子どもの孤食防止と居場所作り
・一緒に食事を共にして会話やゲーム、お遊びをすることで信頼関係を築き、学校で悩みを抱える人間関係について下支えをしていく。
・親子関係での悩みも共有し、親にとっても良い情報交換の場所としていく。

活動歴
毎月1回（第四土曜日）に開催。
他にも餅つき大会　サンマ焼、スイカ割、植物体験
室内ではおもちゃ遊び、屋上ではシャボン玉や流しそうめんなども

団体情報
住所：　〒235-0026
横浜市磯子区中原4-24-1
TEL：　045-772-1716
Mail：　psalms027@gmail.com
URL：
https://sugita-christ-church.jimdo.com/kidscafe/

★助成した事業・活動
子ども食堂
★内容
子ども食堂、フードパントリー、学習支援
★助成対象
子ども向けイベント「ハロウィン」「クリスマス会」のプレゼント購入費用等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

助成を受けることを通して子どもたちに笑顔を届けられたので、本当に助かりました。特にコロナ禍の中で生活においても、精神的にも徐々に追い詰められてきている今、助成を受けて大きなイベントや継続的な支援ができた事は、非常に意義のあることでした。
多くの方々から感謝の声が寄せられてきました。

みんなでごはん（横浜市）　代表　三上　千代子
助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
2018年1月

団体の目的・活動内容
設立後は、チラシ掲示などにより参加者を募集して、その地域の方々みんなで紙芝居を観たり、ごはんを食べながらコミュニケーションをとる、といったような居場所づくりを目的として活動していましたが、コロナ禍により通常活動ができなくなり、2ヶ月ほどは連絡がとれた希望者へのフードパントリー活動に切り替えましたが、現在は生き活き市民基金さんの助成金により、飲食店さんと連携してお弁当を参加費100円にて配付しています。

活動歴
月に1～2回、地域のサロンやケアプラザでこども地域食堂を開催

団体情報
住所：　横浜市金沢区
Mail：　cony11.422@gmail.com

★助成した事業・活動
子育て世帯、独居高齢者世帯などへの食を介した地域のつながり活動

★内容
お弁当提供活動

★助成対象
弁当代

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

助成金のおかげでこのコロナ禍での流動的な活動に対応することができました。

基本的には、活動の内容に興味を持った方々からの予約電話を待っているのですが、気になっている方からの連絡がなかった時には、こちらからもお伺いの電話をすることがあります。

購入しやすい100円弁当を介して、近況を話してくれたり、提供当日には顔を出してくれるようになりました。

回数を重ねるごとに、参加者の表情が明るくなっていくのを感じます。飲食物には、信頼関係つくりのコミュニケーション活動を潤す特別な役割があるのだなあと、つくづく実感しました。

一般社団法人 ふらっとカフェ鎌倉（鎌倉市） 代表　渡邉　公子
助成金額　100,000円

団体紹介

設立年月
2017年3月

団体の目的・活動内容
みんなの笑顔が見たい！栄養バランスの取れた食を通した居場所づくりをする。
・移動式地域食堂「みんたべ」（みんなで食べる食堂）
・フードパントリー
・みんたべ協議会運営

活動歴
・移動式地域食堂「みんたべ」123回開催
・フードパントリー
・支援活動団体12団体と3か月に1度みんたべ協議会を開催

団体情報
住所：　〒248－0012
鎌倉市御成町20－21
福祉センター1階ふらっとカフェ倉庫

TEL：　090－5199－1654
Mail：　flatcafekamakura@gmail.com
ＵＲＬ：https//flatcafekamakura.wixsite.com/flatcafekamakura
インスタグラム
https://www.Instagram.com/flatcafekamakura/?hl=ja

★助成した事業・活動
地域食堂・食料支援

★内容
食を通した多世代が利用する地域食堂
生活しにくくなった方への食料支援

★助成対象
食材費、会場費、感染対策費、交通費
講師謝金等

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

感染拡大により、今まで行えていた食の提供（栄養バランスのとれた食事）や、地域のこどもや高齢の方への見守り、またレストランの協力を得て行っていた家庭外での居場所の開催等の活動が難しくなり、地域食堂の活動を停止せざるをえなくなりました。しかしコロナ禍だからこそ、居場所の必要性を改めて感じたため、できる限り新しい運営方法に変え、安心安全の継続運営を模索していました。

今回団体として初めての助成を受けたことにより、感染予防品の保有数を増やせ、テイクアウトのお弁当箱を環境に配慮した素材のものを購入することができました。さらにゲストをお迎えしてのイベントを開催することができ、参加者の癒しの空間を演出できました。

新たな様式で料理提供や居場所づくり、安定した食料支援活動を継続する余裕ができたことは我々の活動にとって大きな成果でした。活動実施の背中を押していただき、ありがとうございました。

デイサービスセンターで
地域食堂開催

カフェでの交流とテイクアウト弁当

生活しにくくなった人への食料支援

いわとともしびチーム（横須賀市）　代表　加藤　路子
助成金額　100,000円

団体紹介

設立年月
1989年9月

団体の目的・活動内容

地域の課題にできるときに、できる事を！こどもサロンの目的は以下の3点です。

①手作り弁当を通して、地域のジジ・ババの味を食べて、味覚体験を広げる。

②感染症の予防を意識した方法で、こども達がつながりを感じることが出来る。

③With COVID-19 時代の世代間交流と地域でのこどもの見守りそのほかの活動）・ペンギン広場（親子サロン）月1回・高齢者交流会・一人暮らし高齢者の手芸の部屋出張支援（庭の手入れ・ゴミ捨て・子育て個別支援・受診、買い物支援・等）

活動歴

2017年こどもサロン実施
2020年3月弁当配布・フードパントリー+お楽しみ

団体情報

住所：　〒239－0844
横須賀市岩戸3-26-9
TEL：　046－848－0408
Mail：　Acchon-burike_n.n@jcom.home.ne.jp

★助成した事業・活動
こどもサロン

★内容
こどもサロンでの弁当配布、イベント開催

★助成対象
物品購入費、食材費、感染対策費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナの影響で共に食事することが出来ず、感染予防対策のための費用がかさんでいましたが、助成金を有効活用させていただき感謝です！なかなか集団に入れずお届けしていたこどもが、そっと参加してくれるようになった時などスタッフの励みになっています。普段も子供達や保護者と挨拶や言葉を交わすことが多くなり、日常的な見守りになっています。

以下、保護者からの感想です。このような声が励みになっております。

＜保護者からのメッセージ＞

・ともしびチームの方々には様々な工夫の上で子どもたちのために朝早くから準備していただき、本当にありがたく思っております。娘も小学生として参加できるのはあと3か月、それまでにコロナの収束は難しいと思っておりますが、ぜひ参加したい。本当にいつもありがとうございます！

・コロナで制約がある中で、いつも楽しかったと帰ってくるので、助かっております。1月はお弁当配布だけと伝えましたが、「楽しみ！」と言ってました。

・楽しい時間をありがとうございました。愛情たっぷり、野菜たっぷりなごはんもおなか一杯いただきました。ごちそうさまでした。キャベツのサラダを息子が気に入ったようで（野菜嫌いだった）また食べたいそうで・・・

絵本の読み聞かせとお話

11月のメニュー

公園でやじろべえとコマづくり

受付前に手洗いと体温測定

サンタさんからプレゼント

大家族ふるさと食堂（川崎市）　代表　五十嵐　努
助成金額　75,000円

団体紹介

設立年月
2017年6月

団体の目的・活動内容
お母さんたちのストレス発散の場がひいては子どもの支援にもつながると考え、地域交流の場として「大家族ふるさと食堂」を開催しています。

活動歴
・地域のリビングとして、「大家族ふるさと食堂」を毎月最終金曜日の１８～２０時に開催してきました。大人５００円、子ども無料。平均４０～５０人の参加者。
・４月からは、コロナ禍で、テークアウト弁当に切り替えました。５０～６０食／月。

団体情報

TEL:　090-1708-6635五十嵐
大家族ふるさと食堂 | Facebook
公式LINEアカウント:https://lin.ee/tEYfgYV

★助成した事業・活動
子ども食堂
★内容
大家族ふるさと食堂での弁当配布
★助成対象
備品費、食材費、感染対策費

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

助成頂いた新しい「最新のマイコン炊飯器」で炊くご飯は美味しく最高です。同じお米でも、従来使っていた炊飯器とは、明らかに違う炊きあがりです。お客様からも「おいしいお弁当、ありがとうございます」の声を、ラインで頂いています。私たちの食堂は、日常的にも地域のみなさんから支えられていて、順調に運営できている方だと思いますが、なかなか高額の炊飯器を買うことには、ためらいがありますが今回助成して頂き感謝しております。

こども食堂ハレの日ケの日（横浜市） 代表　鈴木　菜穂子
助成金額　96,000円

団体紹介

設立年月
2019年11月

団体の目的・活動内容
ハレの日（季節の行事やお祝いの日）もケの日（普段の日）も一緒に過ごせるような場所になりたいという願いを持って、毎月第1、3土曜日にこども食堂と第2、4土曜日に居場所開放を実施。季節の行事や食事を経験できるようにイベントを実施する日と、じっくりとコミュニケーションを取れるような日をそれぞれ設けて活動している。

活動歴
2020年1月より月2回のこども食堂を開催。
同年9月より居場所開放を併せて開催。

団体情報
住所：　〒220－0032
横浜市西区老松町54
TEL：　045－262－5770
Mail：　harenohi.kehoni.kids@gmail.com
ＵＲＬ：
https://oimatsukids.family.blog/harenohi-kenohi/

★助成した事業・活動
こども食堂
★内容
こども食堂ハレの日ケの日
★助成対象
物品購入費、ボランティア活動費、
感染対策費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

ハレの日ケの日は個人宅開放型の食堂のため、公共施設の閉館などの影響を受けず、6月より食堂を再開いたしました。しかし、コロナ感染対策として屋外での食事提供が必須となり、助成金を受けてテント、屋外テーブル・ベンチ、食器を購入させていただきました。お陰様で、コロナ禍でありながら休まずに開催でき、利用者やボランティアが増えて広がっています。ありがとうございました。

金銭的に運営が困難な食堂にとって、このような助成金があることは、継続のために本当に心強いです。寄付してくださった方々に感謝し、こどもたちの笑顔のために続けていきたいと思います。

てらこや食堂ラッキーズ（相模原市）　代表　石井　とし子
助成金額　100,000円

団体紹介

設立年月
2019年11月

団体の目的・活動内容
小中学生を対象に無料塾と無料食堂を毎週平日に開催

活動歴
土日祝祭日を除く平日
無料塾：午後4時半～6時
無料食堂：午後6時～7時

団体情報
住所：　〒252－0303
相模原市南区相模大野6－15－27
TEL：　090-2324-3394
URL：http://ishiitoshiko. com/

★助成した事業・活動
子ども食堂・学習支援

★内容
週5日（月～金）小学生・中学生を対象とした学習支援と夕食支援

★助成対象
食材費、感染対策費、消耗品費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

フードバンクかながわ、フードコミュニティ、NPO法人WISH、ほかの皆様から食材提供をしていただいて食費のほうはとても助かっておりますが、その他の家賃、光熱費、消耗品費，雑費は自己負担で賄っておりました。今回の助成金をいただきまして、徹底して消毒関係の衛生品をまとめ買いすることができまして、とても豊かな気持ちになりました。品がそろいますと、子どもも大人も、消毒と衛生に関する意識が強くなったようです。

こんな時勢の世の中で、毎日食堂を続けるのはみんなが大変です。しかし、ラッキーズでは、たまに食事を提供するイベントではなく、子どもの生活を支えて毎日提供しているという体質がありますので、簡単に休止することができません。そんな事情をご理解いただいて助成金を出してくださったことに厚く感謝申し上げます。

かわさきこども食堂ネットワーク（川崎市） 代表　佐藤　由加里
助成金額　100,000円

団体紹介

設立年月
2018年9月

団体の目的・活動内容
川崎市内のこども食堂・地域食堂等の食を中心とした支援活動を通して、あたたかなつながりがあふれる社会を作ることを理念とし、こども食堂等に関する中間支援活動を行っている。

活動歴
・食品衛生講習会の企画、開催。
・川崎市内のこども食堂、地域食堂の運営者やスタッフを中心とした交流会の企画、開催
・川崎市市民文化局との協働によるイベント開催（2020年１月「みんなでつくる子どもが安心できる場所」:こども食堂等の事例紹介）
・各企業・個人等からの市内こども食堂への寄付金・寄贈品の受付・分配
・ホームページの運営
・ 市内のこども食堂等の調査
・ 全国域の中間支援団体からの寄贈品・助成金情報の提供・分配調整
・ 神奈川県域のNWとの情報交換等

団体情報
住所：　非公開
TEL：　非公開
Mail：　kawasakiksnw@gmail.com
ＵＲＬ: https://kawasaki-kodomoshokudo-nw.jimdofree.com/

★助成した事業・活動
川崎市内の子ども食堂の中間支援活動
★内容
食品衛生講習会＆交流会開催
★助成対象
講師謝金、備品、会場費、通信費等

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

コロナ禍において、こども食堂の開催もままならず、ネットワークとしての活動を模索し思い悩んでおりました。今回の助成事業により、従来の来場型のミーティングをハイブリッド(来場とオンライン)で開催する新しい試みを実行できました。また、食品衛生講習会のプログラムも、実践的な内容の講演をしてほしいとの要望に沿って依頼できたのは、講師への謝礼が支払える助成金あっての事と感謝しています。

更に、今回の食品衛生講習会をきっかけに、今までネットワークには参加していなかったこども食堂がネットワーク参加団体となって、個別の食品衛生講習会開催の依頼を受け1月30日に開催が決定したことは、大きな成果であると感じました。

次年度の活動計画を立てる際に必要な、教訓やメンバーも得られ、大変有意義な助成金事業であったと心より感謝しています。

特定非営利活動法人 報徳食品支援センター（小田原市）
代表　田嶋　享　　助成金額　97,944円

団体紹介

設立年月
2019年12月

団体の目的・活動内容
まだ食べるのに問題のない食品を企業や市民から無償で受領し、それを必要とする生活が困窮状態にある人達に無償で配る活動。

活動歴
2020年2月から活動開始。現在会員数は100名超。神奈川県西部の小田原市を中心とする2市8町を対象地域として、主にひとり親家庭に対して月1回以上の食品提供を行っている。

団体情報
住所：　〒250－0212
小田原市西大友136－1
TEL：　070-8555-2189
Mail：
http://小田原報徳フードバンク.com/問い合わせ/

URL：　http://小田原報徳フードバンク.com

★助成した事業・活動
ひとり親家庭への食品支援

★内容
ひとり親家庭を中心とした食品配布

★助成対象
お米（パックライス）購入費、ボランティア交通費、ガソリン代

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

フードバンク活動の成果は、数字では出せる。しかし、その活動地域の社会が、どの程度住み良い町になったかを知るのは難しい地味な活動である。唐突な表現だけれど、消防署の果たす役割に似ている。消防署は火事を消す仕事の他に、いかに火事を出さないように活動するのが重要な使命である。しかし、何件火事の発生を防いだかはわからない。フードバンクが食品を困った家庭に提供しなかったら、事件や悲劇がおこった可能性がある。しかし、未然に何件それを防いだかの数字はない。しかし、送られてきたアンケートをみると、受領した家庭に小さな幸せが訪れたことは間違いない。小さな幸せを届けたい。その想いが仕事を続ける糧となっている。

長後こども食堂（藤沢市）　代表　髙見　広海
助成金額　56,440円

団体紹介

設立年月
2017年1月

団体の目的・活動内容
地域活性を目的とし、こども食堂を通じて地域の孤食孤立解消、多世代交流、生活困窮者への支援を図っていく

活動歴
・毎月第一日曜日こども食堂開催
・元旦炊き出し（過去2回）
・コロナ禍中の夜ご飯支援、昼ごはん支援
・節分やハロウィンイベントの開催
・御所見地区での出張こども食堂

団体情報
住所：〒252-0802
藤沢市高倉641-5
TEL：080-3428-8792
Mail：:aqua_hirou.mi.kuto@softbank.ne.jp

★助成した事業・活動
子ども食堂、生活困窮者支援

★内容
子ども食堂、食支援活動

★助成対象
食材費、会場費、消耗品費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度はご支援していただきありがとうございました。こども食堂を通じていろんな方々へ食事を提供することができました。新型コロナウイルスによって生活だけでなく気持ちの貧困も増え、親と子ともにストレスが溜まっているかと思います。そんな方たちにとって長後こども食堂が心の拠り所になっていれば幸いです。

この先まだまだどうなるか分かりません。良くなろうと悪くなろうと長後こども食堂は活動を続けていきます。現在は不定期で行っている食材配給ですが、ゆくゆくは月1回などのペースでやっていけたらと思っています。また、御所見で行った出張こども食堂についても御所見に限らず長後周辺の地区で定期的に行っていければいいなと思っています。

今回助成して頂いた事業は今後の活動の糧になったと思います。将来、もっと活動の幅を広げられるように活動を頑張っていきます。

ひばり野のなかま達（平塚市）　代表　大畑　正子
助成金額　95,000円

団体紹介

設立年月
2020年4月

団体の目的・活動内容
・次世代を担う子供達の生活環境の一助。
・地域住民との交流
・様々な人々の理解や活動の場の提供を目的とした、ちいき・こども食堂
・グループホームの玄関を借りて駄菓子屋開店
・公民館での学習支援と居場所づくり

活動歴
・2020年4月～公民館にて学習支援、居場所づくり、グループホームの玄関での駄菓子屋
・2020年7月～ちいき・こども食堂の開店

団体情報
住所：　〒254－0084
平塚市南豊田6－5
TEL：　080－1055－9303

FAX：
Mail：　info@hana-kikaku.com
ＵＲＬ：

★助成した事業・活動
地域食堂
★内容
ちいき・こども食堂開催
★助成対象
会場費、食材費、消耗品費、交通費等

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

コロナ禍で当初の予定より開店が遅れたが、ボランティアのニーズに対する要望も強くコロナがやや落ち着きをみせた7月より開店。野菜等の寄付はあったものの、主菜となる肉魚等の購入費もままならないところ、この助成金を教えて頂き、以降美味しく栄養価の高い、バランスのとれた食材が提供できるようになった。利用の皆様やボランティアからも好評を持て、ニーズへの対応も可能となる。高齢ボランティアの生き甲斐となる活動の場の、地域の方へのニーズに少しずつ対応が出来、この助成金は本当に有難かった。今後のコロナも心配であるが、皆様の心を無駄にすることなく有効に使用させて頂き感謝している。

コガスクール（大和市）　　代表　古賀　智恵美
助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
2013年1月

団体の目的・活動内容
子供食堂運営
・月2回子供の居場所である子供食堂「コアラ食堂」を実施（食事支援と学習支援）
・子育て支援（オンライン、電話等による子育て相談）
お弁当配布
・月2回中学生以下の子供に無料で配布）

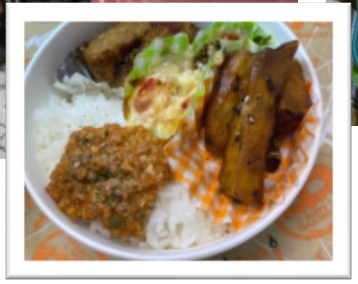
活動歴
2016年子供食堂「コアラ食堂」開催。夏休みは食事提供と学童的な役割として子どもに居場所を提供する。現在は月2回開催。
地元の方が講師となりイベント開催

団体情報
住所：　〒242－0021
大和市中央7－4－2－101
Mail：kogaschool@gmail.com
URL：http://www.kogasuku.com/

★助成した事業・活動
子ども食堂
★内容
子ども食堂での思いやり弁当配布
★助成対象
弁当代、消耗品費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

農家さんが作った野菜がロス野菜となり、それをどうにか活用できないかと考えた取り組みが実現でき、とても嬉しく思っています。農家さんが丹精込めて作っている野菜はとても新鮮でみずみずしく、それを飲食店さんが子どものことを考えてレシピをつくり、おいしいお弁当になる。この仕組みが出来上がり、多くのボランティアさんが手伝ってくれ、回数を重ねるごとにお弁当ファンが増えてきています。
地元の情報誌やラジオ、フェイスブックなどで広めてくれ、日本農業新聞に記事が掲載されたり、他の地域でもやりたいという声も出ております。
思いやり弁当を通して、こんなにも多くの人が一つのことに頑張ってくれ、地元の人とのつながりができ、とても嬉しく思います。今後も継続していきたいと思います。



地域交流サロンさざなみ（綾瀬市） 代表　薬師寺　良子
助成金額　52,000円

団体紹介

設立年月
2019年9月

団体の目的・活動内容
・地元の方を中心に子供から高齢者まで自由に訪れて、触れ合える場所とし会員は、参加する方が気持ちよく参加できるように計画をたてて活動する。
・家庭にて一人で食事をする子供や高齢者が少しでも人と交わる事で、個人が心身共に健康で地域と繋がることを目的とする。
・地域交流サロン　三世代交流　レクリエーションと食事

活動歴
・2019年10月から三世代交流サロンを月に1回食事とレクリエーション
・2020年7月より　子どもとその家族にお弁当と食材を配布

団体情報
住所：　〒252－1111
綾瀬市上土棚北5-8-21 森滝ビル3階
デイサービスひばり内
TEL：　0467－38－4334
Mail：　sazanami_kodomo5821@yahoo.co.jp
代表　薬師寺　良子
ＵＲＬ：　フェイスブックグループ
https://www.facebook.com/groups/761636474565536

★助成した事業・活動
多世代交流・子ども食堂
★内容
子ども食堂　子どもの笑顔応援弁当事業
★助成対象
食材費、運搬費、ボランティア活動費、消耗品費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

初めてコロナ対応第3次緊急応援助成金で助成してもらいました。2019年10月から三世代交流サロンを運営しています。初めは小さいお子さんから高齢者まで一緒にビュッフェスタイルで手作りの食事を食べてもらい、そのあと3世代交流のレクリエーションを楽しんでいました。コロナによって3世代での開催は出来なくなってしまいました。

2020年7月、学校が休みの日にご飯を食べずにずっと公園にいるお子さんがいると聞いて、その子供たちのためにお弁当を作って渡すことになりました。

出来るだけ多くのひとり親家庭や貧困家庭の方へお弁当をお渡したい。しかし、子ども無料で運営するには資金がなく、どうしたらいいか悩んでいたところ、生き活き市民基金のことを知り応募させていただきました。おかげでひとり親家庭や、悩みを持っている家族の方などお弁当と食材をお渡しできるようになりました。

できるだけ本当に困っているお子さんにお渡ししたいと考え、行政の方や知り合いの方の協力を得て活動を知っていただいています。資金を援助していただいたおかげで安心して集客して、コロナの感染防止のための必要な準備もすることが出来ました。ありがとうございました。

ふれあいっこ三ツ沢（横浜市）　代表　小川　真奈美
助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
2017年9月

団体の目的・活動内容
子どもの欠食・孤食を軽減し、食を通しての様々な学びの場の提供
月2回食事提供やイベントの開催

活動歴
・食事提供：開催から70回。
・イベント開催：芋ほり＆バーベキュー（野菜提供の農家さんとの交流）、三ツ沢公園樹名板作り、木工教室、花火、クリスマス会、ハロウィン等

団体情報
住所：
横浜市神奈川区三ツ沢東町2-29(東町自治会館)
横浜市神奈川区三ツ沢西町11-33
（西町自治会館）

Mail：fureaikko@gmail.com
URL：kids-33-comm.jimdofree.com

★助成した事業・活動
子ども食堂

★内容
ハロウィンイベント、クリスマスお楽しみ頒布会開催

★助成対象
菓子代、消耗品費、交通費、謝金等

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

新型コロナウイルスにより、2020年3月から子ども食堂自体を開催出来ずに悶々とした日々を過ごしていました。ふれあいっこ三ツ沢は、SDGsに賛同しフードロス削減も掲げているので、5月からは食品頒布会を開催していました。

楽しみにしていたイベントもことごとく中止を余儀なくされる中、緊急応援助成（第3次）において助成金を頂けました。頂いた助成金は、10月31日のハロウィンと12月のクリスマスお楽しみ頒布会（2回）に使わせて頂きました。

ハロウィンは、各町内の民生委員の協力で7か所で同時開催となり、延べ1000人程の参加者となり、町には仮装した子どもの笑顔が溢れ、何事もなく無事に終えた事に安堵と喜びを感じました。

クリスマスは、頒布会をくじ引きにしてワクワク感がありました。また、子どもにはサンタさんからのお菓子のプレゼントを買う事が出来ました。

１年にも及ぶ自粛生活を余儀なくされている中、助成金を頂き子ども達の成長の手助けができた事に感謝を申し上げます。

一番乗りの子どもと学生サンタさん

雨の中でも長蛇の列

受付を待つ子どもたち

特定非営利活動法人 サテラ（相模原市）　代表　庄田　浩之

助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
2017年6月設立

団体の目的・活動内容
一般市民、特に生活困窮者、ドメスティックバイオレンス被害者及び高齢者等の方々に対して、生活、住居及び自立の支援に関する事業等を行い、誰もが安心して生活できる社会づくりを目的とし、広く公益に寄与することを目的とする。

活動歴
相模原市内及びその近隣において主にフードバンク事業・生活家電バンク事業活動を行なっている。

団体情報
住所：〒252-0243
相模原市中央区上溝1725－3
TEL：　042-813-6363
E-mail：info@npo-satella.or.jp
URL：http://npo-satella.or.jp

★助成した事業・活動
フードバンク、生活困窮者支援

★内容
ひとり親世帯などで、今回の新型コロナの影響により世帯収入が激減した家庭の子供たちの食支援

★助成対象
食材購入費、ボランティア謝金

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

前期からの変化と致しまして、社会経済が混迷する中におきまして、元々非正規雇用で仕事をしていた方々やその世帯の困窮状態が継続する傾向にあり、スポット的な支援ではなく継続的な支援が求められております。また、今までは何とか生活してきた世帯にあっても、コロナの影響が長期化する中において、困窮状態に陥る傾向が多く見受けられるようになりました。その様な中で、我々が社会的に果たす役割や社会的な期待値が益々高まっております。しかしながら、一方でこういった助成金が無いと中々活動が出来ないという事も事実でございます。我々も何とかコロナの影響が無くなりみんなで笑顔になれる日まで支援してまいりたいと思います。今回も助成頂き有難うございました。

たすけあい （小田原市）　　代表　太田　実

助成金額　66,000円

団体紹介

設立年月
2019年4月設立

団体の目的・活動内容
困っている人を助けること
病気や失業で生活できない。そんな困っている人にわずかですが食べ物などをお渡しします。

活動歴
サロンなどで無料での食糧配布、フードバンクからの提供食品とかながわ生き活き市民基金からの助成金で購入した食料品などを生活困窮者に配達しています。

団体情報
住所：〒256-0816
小田原市酒匂4－5－40

E-mail：ootam242@gmail.com

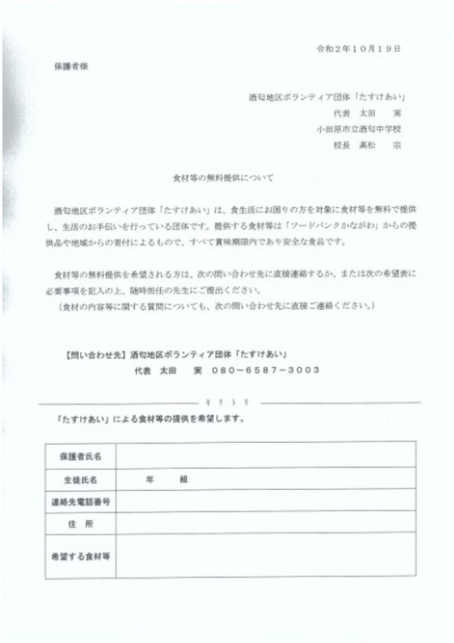
★助成した事業・活動
フードバンク

★内容
生活困窮者、ひとり親家庭、障害者への食支援など

★助成対象
感染対策費、食材購入費、配送経費

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

コロナ助成第3次を受けることができ、コロナウイルス感染拡大により困っている人やひとり親家庭、障害者、生活困窮者などのお困りの方に食材、食品、身の回りの品物などをお渡しできました。
酒匂中学校　校長先生のご協力により全校生徒に呼び掛けていただき3件の希望がありました。1件は7人の子どもを育てており食品の無料提供に非常に喜んでくれております。2件はお父さんが小さな子どもを連れて無料食品を引取りに来てくれております。他にひとり親家庭や生活保護利用者、高齢の一人暮らしの方などさまざまですが、皆さん配達すると非常に喜んでくれます。
これからも、コロナウイルス感染防止対策をしながら、少しでも皆さんのお役に立てるよう継続します。



令和2年10月19日

保護者様

酒匂地区ボランティア団体「たすけあい」
代表　太田　実
小田原市立酒匂中学校
校長　高松　宗

食材等の無料提供について

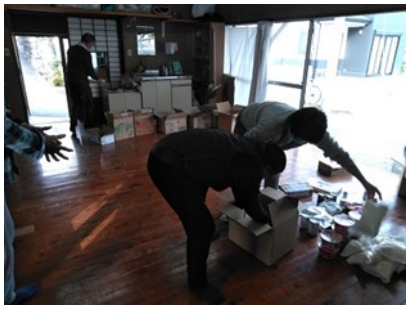
酒匂地区ボランティア団体「たすけあい」は、食生活にお困りの方を対象に食材等を無料で提供し、生活のお手伝いを行っている団体です。提供する食材等は「フードバンクかながわ」からの提供品や地域からの寄付によるもので、すべて賞味期限内であり安全な食品です。

食材等の無料提供を希望される方は、次の問い合わせ先に直接連絡するか、または次の希望表に必要事項を記入の上、随時担任の先生にご提出ください。
（食材の内容等に関する質問についても、次の問い合わせ先に直接ご連絡ください。）

【問い合わせ先】酒匂地区ボランティア団体「たすけあい」
代表　太田　実　080－6587－3003

「たすけあい」による食材等の提供を希望します。

保護者氏名	
生徒氏名	年　組
連絡先電話番号	
住　所	
希望する食材等	



特定非営利活動法人 ワンエイド（座間市）　代表　松本 かがり
助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
2011年1月設立

団体の目的・活動内容
フードバンク、住まいのサポート、生活のサポート

活動歴
生活困窮者、高齢者、ひとり親家庭、障がい者などへの食糧支援、支援団体（子ども食堂、福祉団体）への食糧支援など

団体情報
住所：〒252-0001
座間市相模が丘4-42-20

TEL：046-258-0002
FAX：046-259-9514
E-mail：own_aid@yahoo.co.jp
URL：https://own-aid.com/

★助成した事業・活動
フードバンク、

★内容
ひとり親世帯、高齢者、障害者など社会的弱者、困窮者に無償の食糧支援

★助成対象
感染対策費、ボランティア活動経費

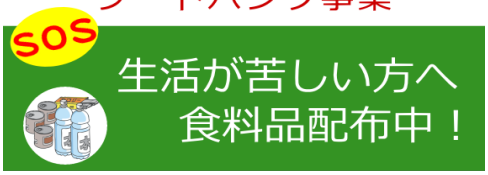
助成をうけて・・・の思い・メッセージ

新型コロナにより増えた、更なる多種多様なご事情、ご利用する方々の状況に合わせた食材提供を心がけ、助成を頂いたことで希望に寄り添えたのではと思っております。

また、活動を続けてきたことの周知もだいぶ広がり、多方面の方から食材の寄付がありました。コロナ禍において、やさしさをいただき、私達スタッフが逆に励まされたりもしました。

今後も、自分たちに出来る対策を取りながら、困っている方たちに食糧をお渡しできるよう、活動に尽力してまいります。かながわ生き活き市民基金さまの素早い対応に感謝致します。

フードバンク事業



フードコミュニティ　（相模原市）　　代表　中臺　博

助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
2017年10月

団体の目的・活動内容
市民の皆様や企業様からお裾分け頂いた野菜や果物・贈答品・規格外食品で賞味期限原則30日以上の食品をご寄付いただき、市内の子供や高齢者向けの食堂や養護施設・生活困窮世帯を支援されている団体・無料学習塾様に無償でお届けし、有効活用されることで、フードロスを削減し、地域とのコミュニケーションの拡大を推進しています。

活動歴
食材を必要としている団体や個人のメーリングリストやLINEグループ、Facebookグループを作成し、提供可能な食材を発信し、必要な方を把握し届けている。
食材提供を呼び掛けるため、Facebookやチラシなどを活用して発信している。
現在の主な活動
・パルシステムグループからの食材集荷(原則第2・第4土曜日)
・オギノパン様からの食材集荷と配送活動(毎週日日・第2・第4金曜日)
・フードバンク様からの食材集荷と配送(原則第4金曜日)
・相模原市資源循環推進課のフードドライブ品の集荷(1回/月)
・市民からの食材提供随時(月平均15か所)
・市民団体等への食材配送随時(月平均28回)
・扱う食材の数量(フードロス削減金額換算) 120万/月(年間平均1，440万円)
・LINEやFacebookグループでの情報交換や情報共有(例:食材の融通等)

団体情報
住所:相模原市南区
TEL:070-4481-4094
Mail:foodcommunity.1001@gmail.com
URL:
https://foodcommunitysagamihara.amebaownd.com/

★助成した事業・活動
フードバンク

★内容
大学生、ひとり親家庭への食材支援

★助成対象
食材搬送費、食材仕分け及び事務作業費、オンライン機材購入費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

新型コロナの影響で、団体の定例会も開催できず、今回の助成金の一部でZoomオンラインミーティング使用機材を購入させていただきました。
6月からは継続して、市内在学在住の大学生向け食材支援は市のこども・若者未来局主催で開始され、市内フードバンク団体としても支援を行いました。
10月からはひとり親子育て世帯への食材支援を行う中で、フードバンクかながわからの食材も活用させていただきました。

フードバンク浜っ子南（横浜市）　代表　下山　洋子
助成金額　100,000円

団体紹介

設立年月
2020年6月

団体の目的・活動内容
新型コロナの影響により困窮を抱えた方々が更にひっ迫した状況に置かれている現状を鑑み、身近な地域に密着した細やかな食料支援活動を行えるよう新たな組織を立ち上げました。

活動歴
団体設立前は、スタッフ全員が前所属のNPO法人フードバンクでひとり親支援やホームレス支援等、食に困った方々への支援活動を行ってきました。これらの活動経験と人脈を生かして、戸塚区役所内で新たな活動をスタートしました。

団体情報
住所：　〒245-0067
横浜市戸塚区深谷町1252-13
ﾄﾞﾘｰﾑﾊｲﾂ3棟203号
TEL：　080-9201-4357
Mail：　smile@fbh-minami.org
URL：　www.fbh-minami.org

★助成した事業・活動
フードバンク

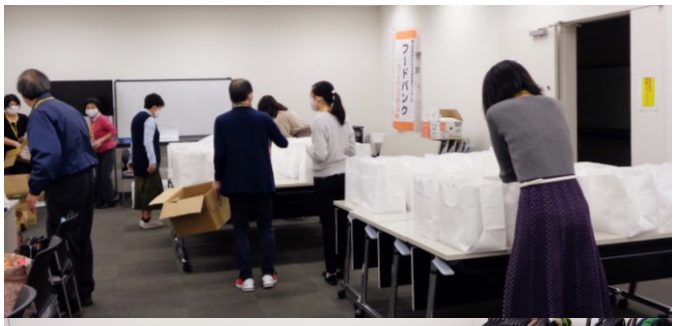
★内容
ひとり親世帯へのフードパントリー方式の食料支援事業

★助成対象
倉庫賃料

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

このたび第3次助成をいただき、フードバンク活動に不可欠な食品保管庫を拡大することができました。設立から半年が過ぎ、活動の広がりに伴い支援用食品の扱い量が増え、今後ますます増大することが見込まれるため、倉庫が確保できることは大変ありがたく感謝申しあげます。これを契機に、さらに活動を進展させていきたいと気持ちを新たにしております。

南区、戸塚区は回を追うごとに参加申し込みが増え、2月には両会場に加えて磯子区で3か所目のフードパントリーを開始いたします。コロナ禍のなか、参加された方々とは対面でのコミュニケーションが難しいですが、食支援の場が温かい気持ちの通いあう場であることを願っています。フードパントリー拠点を増やすことから更なる新しい出会いを期待し、いただいたご縁を大切につないでいきたいと思っています。



青葉フードシェアネットワーク（横浜市）　代表　岡田　綾子
助成金額　97,000円

団体紹介

設立年月
2020年7月

団体の目的・活動内容
青葉区内で活動している団体がネットワークしてフードドライブ・フードパントリーの活動を広げる。「食」を通じて、見えにくい困難を抱える方達とのつながりを広げる。

活動歴
7月からミニフォーラムでフードドライブ、フードパントリーに取り組む各団体のネットワー　ク化を検討し、10月からは具体的な連携に取り組んでいる。

団体情報
・青葉フードシェアネットワーク　ＵＲＬ:
https://www.facebook.com/aoba.foodshare

＜参加団体＞
・NPO法人スペースナナ
https://spacenana.com
・NPO法人ピッピ・親子サポートネット
https://npo-pippi.net
・横浜北生活クラブ生協
・市ヶ尾デポー運営委員会
・フードシェア・青葉

★助成した事業・活動
フードドライブ・フードパントリー

★内容
フードドライブ・フードパントリーに取り組む団体のネットワークによる困難を抱えた方と「食」で繋がる活動

★助成対象
広報費、備品費、消耗品費、ガソリン代

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

何より有難かったのは、①近隣のフードドライブやパントリーを実施する団体の地図入りの共通のチラシを作成できたことで、寄付してくださる方、食品を必要とする方の双方にとってアクセスしやすい実施日や拠点の選択肢を複数提供できるようになったこと。②9500枚のリーフレットを配布することによって、フードシェアの活動が周知されるようになり、食品の寄付をしてくださる方が増え続けていること。③運搬などの活動費用ができたことで、拠点間で食品を融通しあうことができ、また提供したい食品があっても届けるのが難しい方たちに向けての出張回収活動も行えるようになったことでした。

生活に困っている方と繋がりにくい地域と言いましたが、いざ始めてみると、区内の大学への働きかけで大学生と繋がったり、社協からの紹介があったりと、必要な方に繋がることが着実に増えてきていることを感じています。一つの団体でできることには限りがありますが、地域の複数の団体で連携することの強みを実感した3か月でした。これからは新規の参加団体も募りながら、ネットワークの広がりと連携の強化をめざしていきたいと思います。

特定非営利活動法人 神奈川フードバンク・プラス（横浜市）
代表　本岡　俊郎　　助成金額　100,000円

団体紹介

設立年月
2017年7月

団体の目的・活動内容
横浜市の中区から金沢区にかけての地域と横須賀市を中心とした2つの地域において、現行の福祉制度の対象から外れる基礎年金だけで暮らす高齢者、母子家庭、外国人労働者などをフードバンクのしくみを生かして食品支援を行うことを目的として設立した。

活動歴
・かもめ団地独居高齢者への食品支援（隔月）
・津久井浜地区高齢者への食品配布（隔月）
・コロナ禍で収入が減った母子家庭等への支援
・毎月50団体（市福祉関係、子ども食堂等）への食品支援

団体情報
住所：　〒231-0842
横浜市中区上野町2－54
横浜上野町教会内
TEL：　090-3107-6477
Mail：motooka0215@hi3.enjoy.ne.jp
URL：http//foodbankplus-kanagawa.org/

★助成した事業・活動
フードバンク

★内容
生活に困窮する独居高齢者や母子家庭、大学生等を対象とした食品支援活動

★助成対象
ボランティア活動費、燃料費、食品購入費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍の感染拡大防止対策による緊急事態宣言等の発出で、従来の生活に戻る気配が見いだせない現在、生活困窮世帯の増大が続いています。5月から続けている定例の困窮世帯配布会も今はリピーターを中心に実施していますが、食品を必要としている世帯からの電話も多くなっています。その場合は緊急対応として取りに来てもらったり宅配したりしています。
今後も続くであろうこのような状況下で、今回の助成金の提供は大きな安心事項となっています。ありがとうございました。

育ち合い広場　てとてとて（藤沢市）　代表　小川　智子

助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
2017年7月設立

団体の目的・活動内容
＜目的＞
・子どもとの暮らしと向き合い地域と繋がり育ち合う事
・子ども達の豊かな感性や想像力を引き出せる環境を考え育成を見守る事
・互いの人格を尊重し、各々が各々らしく生きる為の場所作り
＜活動内容＞
（1）子どもとの暮らしと向き合う座談会。
（2）互いの特技や趣味を生かし、学び育ち合える場として「手等子屋（てらこや）」の開催。
（3）地域の自然の中で五感を使い、四季折々を感じながらの野外探検活動。
（4）「困った時はお互い様」分かち合い、助け合いのフードバンク分配活動。環境問題にも取り組む。

活動歴
暮らしの座談会、居場所活動「てらこやわはは」、年間体験活動「てらこやであそぼう！まなぼう！」、かさ地蔵プロジェクト

団体情報
住所：〒251-0002
藤沢市大鋸（番地非公開）

TEL：非公開
Mail：tetotetote2017@gmail.com
URL：https://www.facebook.com/tetotetote2017

★助成した事業・活動
親と子の育ち合いを目的とした活動
★内容
かさ地蔵プロジェクト、放課後の居場所
★助成対象
ボランティア活動費、講師謝金、消耗品費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

子ども達が自らの意思で訪れる「てらこやわはは」無料開放を続けることで、子ども達からじわじわと伝わり、お友達や兄弟を連れて訪れる子どもたちも増えました。新型コロナウィルスの出現で世の変化に誰もが戸惑う中、規制や我慢のしわ寄せが行くのは子ども達。大人達が決めたことに従うしかない子ども達の暮らしの中で、「いつもと変わらずにそこに在る安心感」を継続できたことの意味は大きかったと子ども達の笑顔から感じています。
また、その場に食料配布「おひとつどうぞ」のコーナーを引き続き設けることで、育ち盛りの子達の食を支えることができました。「おかあさん喜ぶと思う」「これなら自分でも作れる」とお米や食材、レトルトやインスタント食品を持ち帰る子らと対面で会話しながらのやり取りがまた交流につながり、食だけでなく心も支えていただきました。
「かさ地蔵」での戸別配達も継続してお届けすることで、安心感とともに利用者さんを通じて「今困っている方へ」の感謝の伝承が広がり始めています。基本子どもはお金を持っていません。子どもが自ら遊び学ぶ場として、無料を貫く…思いつきで始めるのは簡単ですが、これを継続するには今回のような心ある助成の存在が大きな支えとなりました。
また、活動謝礼がなくても頑張れるスタッフもおりますが、あることでさらにやる気を出せる若者がいます。市民活動に関わる若者を増やす側面でも、今回の助成が生きています。熱いハートだけでは成しえなかった活動ができました。ありがとうございました。

Art Lab Ova（横浜市）　代表　鈴木　敬之

助成金額　70,000円

団体紹介

設立年月
1996年3月

団体の目的・活動内容
障がいの有無、年齢、性別、国籍など社会的立場に関係なくすべての人がクリエイティブであることの顕在化、実践

活動歴
1996年　福祉施設への出張アトリエ開始。
1998年　かながわゆめ国体において神奈川県社協と横浜市社協主催のしょうがい者アートイベントを企画。
1998年～1999年　サンフランシスコ障害者アートセンターにてコラボレーション。
2008年　「近江八幡お茶の間ランド」にちょっと寄ってくれはらへん？　～ふつうの町のキュートな日常～」を企画。（ボーダレス・アートミュージアム NO-MA）
2009年～毎年夏に、横浜下町パラダイスまつり＋よこはま若葉町多文化映画祭を企画。
2010年　映画館「シネマジャック＆ベティ」のとなりにアートスペース「横浜パラダイス会館」を開設。
2015年～ 近隣のこどもたちに無料で「横浜パラダイス会館」を開放。
2019年　キッチンを整備して本格的にこども食堂を開始。

団体情報
住所：〒231-0056
横浜市中区若葉町3-51-3-101
横浜パラダイス会館
TEL：　非公開
Mail：　artlabova@gmail.com
URL：　https://www.facebook.com/kidsinparadisehall

★助成した事業・活動
海外につながる子どもと親への支援活動
★内容
新しい生活 様式を取り入れてオープンする
こどもの居場所事業
★助成対象
ボランティア交通費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

9月下旬から、町内で感染症のクラスターが発生し、以前当スペースに来ていた母子も感染し、療養をしていることがわかりました。あまりに近い家族の感染に、10月中のスタッフの緊張もほぼ頂点に達するなど、心身共に危機的状況に陥ったときもありました。
そんな中でも、定期的に支援してくれたボランティアさんの存在は大きく、本当に助けられました。その危機をなんとか脱することができたおかげで、その後、当スペースに集う子の一人とその家族の感染が判明したときにも、落ち着いて対処することができました。
今後も感染症とともに生きる日々が継続すると思いますが、少しずつ、過剰に恐れるのではなく、正しく恐れる姿勢が身についてきたように思います。
この助成金を利用させていただいたことで、新しい日常の一歩を踏み出すことができました。みなさま、ありがとうございました。

TIEトマトマの会（茅ヶ崎市）　代表　山縣紀子

助成金額　96,000円

団体紹介

設立年月
1997年4月

団体の目的・活動内容
外国につながる中高生を中心にした日本語・教科サポートから、彼らの安心出来る居場所として、話の場、交流会なども大事にしている。

活動歴
1984年　前組織の中国残留孤児の子ども達の教室として発足。
1997年　前「ユッカの会OB」活動の中で「トマトマ教室」開室
2009年　「TIEトマトマの会」発足、外国につながる主に中・高生を中心とした　日本語・教科指導等
基本的にマンツーマン対応を全員ボランティアサポーターにて活動
毎週日曜の午後、かながわ県民サポートセンターにて実施

団体情報
活動場所
かながわ県民サポートセンター（横浜駅西口）
Mail：　noriko-noko@ozzio.jp

★助成した事業・活動
外国人につながる日本語・学習指導

★内容
トマトマ学習教室の実施、リモート学習

★助成対象
会場費、備品購入費、オンライン費用等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

厳しい状況下ではありますが、今こうした場がなくなることもまた、別の問題・禍のもとになることもあり得ます。この助成を受けられたことによって、彼らにとって必要な場が継続できたことが何よりも有難かったです。リモート学習への必要性・可能性も気付き、対応準備に持っていくことができました。

外国にルーツを持つ子ども達・若い人達が、同じ生活者として地域に、学校に、社会に、普通に馴染んで自己実現を果たしていくまでには、まだ多くの壁があり、多くの理解とサポートを必要とします。

トマトマ教室では、中高生を中心とした子ども達が定期的に日本語や教科の勉強に通い、横のつながりも持ち、多くのボランティアサポーターが彼らへの理解と心意気を持って支援活動を続けています。

NPO法人ワーコレたんぽぽひろば（茅ヶ崎市） 代表　竹内　あき子

助成金額　　36,000円

団体紹介

設立年月
2003年10月

団体の目的・活動内容
親を支援することの先にある子どもたちの健やかな成長、生まれてきたすべての子どもたちが自分自身を大切と感じ、幸せに育つことを願い、「子育て支援は親支援」を合言葉に、地域に根差した活動を行っている。

活動歴
親子のフリースペース・ランチ会・不登校の親の会・親子工作・おかし作りワークショップ・小学生のひろば(長期休み時に開催)　未就学児の一時預かり保育など

団体情報
住所：　〒253-0041
茅ケ崎市茅ヶ崎２３４－１
TEL：　090-6560-8530
Mail：　tannpopohiroba@gmail.com
URL：　https://www.facebook.com/npotanpopohiroba/

★助成した事業・活動
居場所「たんぽぽはうす」の運営

★内容
産後体操開催

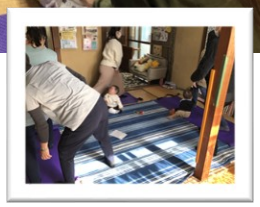
★助成対象
講師謝金、企画費、広報費等

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

コロナの自粛期間が長引き、その時期に出産したお母さんは、出かけることもできず、ママ友達を作る機会もなく、初めての育児に戸惑いながらも相談する相手もなく孤独感を抱えている人が多い現状がありました。子育てを「孤育て」にしてしまわないように、お母さん同士のネットワーク作りや悩みを相談できる場はとても大切であると思います。

今回、助成金を受けて「産後体操」を開催させていただき、初めて自分の子以外の赤ちゃんに触れ合ったり、日々の悩みを共有しあったりして、お母さんたちが自分の心と体にじっくりと向き合う時間が取れたことで、お母さんたちの表情が和らいでいくのを感じました。出産後は育児に追われ、自分のことは後回しになってしまうお母さんたちですが、今回参加して、体が凝り固まっていたことに気づいたり、ホルモンのバランスや栄養の話など聞くことができたことがよかったという声が聞けました。1人で悩みを抱えてしまうことのないように、こういった場はとても必要だと思いました。

今年度は、様々なイベントが中止になる中、子育て中のお母さんたちが少しでも心が軽くなれるよう、また開催していきたいと思います。ありがとうございました。



特定非営利活動法人 アスリード（横浜市） 代表　武政　祐

助成金額　100,000円

団体紹介

設立年月
2019年9月20日

団体の目的・活動内容
「すべての若者が自分の可能性を信じて、未来（あす）を描ける社会を創る」というビジョンのもと、神奈川県内で学ぶ中学生・高校生を対象にキャリア教育支援を行っています。

活動歴
・みらいteacher・・・中学校・高等学校で行う職業講話や職場体験の企画・運営・コーディネートをしています。前身のさくらノートを含む平成27年～令和元年までに120校で実施、12,000人の中高生に将来の選択肢を広げてきました。
・校内居場所カフェ・・・川崎市立高津高等学校定時制において、退学予防と進路未決定者支援を目的に、毎週水曜日「SAKURA✤café」を運営しています。これまでに
1,500名以上の生徒が利用し支援を行っています。
・キャリア教育支援誌「みらい百花」の発行・・・生き活きと働く大人たちの仕事内容や、どうしてこの仕事を選んだのかなど40名以上の人生ドラマが詰まったキャリア教育支援誌「みらい百花」を発行。横浜・横須賀・川崎・相模原・藤沢・町田にある中学・高校、約400校70,000人の若者へ無料配布。「総合的な学習の時間」の教材として活用頂いています。

団体情報
住所：　〒236-0045
横浜市金沢区釜利谷南3-15-17
TEL：　045-325-8801
Mail：　info@aslead.org
URL：　https://aslead.org/

★助成した事業・活動
中学校・高等学校で行う職業講話や職場体験の企画・運営・コーディネート
★内容
オンライン職業講話
★助成対象
交通費、通信費、印刷費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は第2次助成に続き、第3次助成に選出くださり誠にありがとうございました。皆様のおかげで421人の中学生にあり方・生き方・生き抜く力を育むキャリア教育を届けることができました。
第2次助成の際に各社メディアに取り上げられたこともあり、オンライン職業講和の依頼を多くいただけるようになりました。なるべく1人でも多くの子ども達にキャリア教育を届けたいという想いからオンライン職業講和を引き受けておりますが、打ち合わせにかかる交通費、オンライン対応するための機器のレンタル代、事務用品など持ち出しのため、助成いただきたいへん助かりました。
未だ出口の見えない環境下でありますが、こんな時代だからこそ将来に明るい希望を持てる若者を増やせるよう、活動を続けてまいります。この度は誠にありがとうございました。

ラフェリーチェ（横浜市）　代表　穂志乃　愛莉

助成金額　100,000円

団体紹介

設立年月
2019年5月設立

団体の目的・活動内容
ラフェリーチェは、すべての女性と子ども達が夢と希望を思い描ける社会を目指して設立しました。主に、①DV・虐待被害者の救済支援　②ひとり親世帯をはじめとした貧困世帯の子ども達への教育支援を活動内容に掲げて活動していました。2020年3月には、①部門は独立して、NPO法人DV対策センターとなりました。現在、ラフェリーチェは、①子ども達のための教育イベントの開催（月に一回、プログラミング教室など）②平日週に3日の学習支援・居場所支援・食事提供支援を行っています。そのほか子どもの心理に詳しいカウンセラーが常駐し、思春期のお子さんや子育てに悩む親御さんの悩み相談も行っております。

活動歴
- 毎月1～2回子供向けおよび親子向けイベントの開催
- 平日の学習支援・居場所支援・食事提供支援
- 家庭における悩み相談、お子さんの悩み相談業務

団体情報
住所：　非公開
TEL：　080-6708-0773　担当：穂志乃
URL：　https://lafelice.yokohama

★助成した事業・活動
母子家庭等貧困世帯の居場所、学習支援

★内容
DV・虐待被害者世帯及び母子家庭等貧困世帯の子ども達の学習支援・居場所支援・食事支援

★助成対象
食材費、ボランティア交通費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

ラフェリーチェでは、家庭における経済の差が、教育格差につながることを避けたいという願いの元、ひとり親世帯をはじめ貧困家庭や事情を抱えた世帯の子ども達への教育支援を行っています。特にコロナの影響を受けて学校が休校となってからは、平日の週3日、学習支援・居場所支援・食事提供支援を行ってきました。10月からは、週に4日に増やして開けています。

子ども達の中にある知的好奇心を育てていくことを大切にしています。知らなかったことが分かった!!できなかったことができた!!という体験を重ねるうちに、それらは必ず大きく育っていきます。なんのために勉強するの？やどんな大人になりたいの？から、ゆっくりと対話を深めて、本人が納得した気持ちで学習をしてもらっています♪最初は、楽しい場所、安心できる場所と思ってもらうことからスタートです☆不登校のお子さん、発達障害のお子さんも受け入れています。

特定非営利活動法人まんま（横浜市）　代表　金子　真澄
助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
2006年4月

団体の目的・活動内容
乳幼児及び青少年とその親に対して、安心して過ごせる居場所を提供することと、親と子を支える新しい地域コミュニティーの構築・推進に関する事業を行い、地域の子育て子育ち支援全般の向上と子どもにかかる活動団体のネットワークづくりに寄与することを目的とする

活動歴
・親子のひろば運営（2004年2月より）
・子どもの相談日事業
・子育てタクシー普及支援

団体情報
住所：　〒246－0031
横浜市瀬谷区瀬谷4-7-19
TEL：　045-303-5393
FAX：　045-442-3666
Mail：　manmanchi@r9.dion.ne.jp
ＵＲＬ：https://manmanchi.jimdo.com/

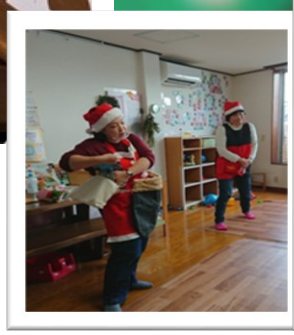
★助成した事業・活動
親子の居場所

★内容
オンラインを活用した工作イベント、お話会

★助成対象
物品購入費、講師謝金、ボランティア活動費、感染対策費

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

助成金をありがとうございました。今回の助成金を受けてオンラインを使用し利用者と繋がることが出来ました。コロナ禍においていろいろな事が制限され、ひろばに来ることすらままならなかった方々と繋がることが出来た事、本当にありがたく思っています。
出来ないこと、出来なかったことを嘆くだけでなく、助成金を受けて新しいことにチャレンジするきっかけを頂けたと思っています。常に誰かと繋がっているという安心感も持つことが出来ました。本当にありがとうございました。



オンラインでの工作イベント

そといく会（横浜市）　　代表　田村　真智子
助成金額　92,000円

団体紹介

設立年月
2019年5月

団体の目的・活動内容
街中の自然と地域の関わりの中で、「外遊び」をテーマに多様な繋がりを生み出し、コミュニティー作りを推進し、子供たちの健やかな成長を願って子育て支援をしていきます。
①外遊びを組み入れた親子のための支援事業
②子育てに関するセミナーおよび交流、研修企画事業
③目的を達成するために必要な事業

活動歴
- 2013年　外遊び「どんぐりん」の活動・運営開始
  未就園児を対象に「個性を大事に自然に触れ、感性を育む」という共通認識で発達障害等のある子も子育ての大変な時期を、母親と共有しながら子育て支援を行う。
- 2019年5月　地域で子育てを応援する任意団体を立ち上げ、散歩会など開催する。
- 2020年４月～　親子のための居場所「ぽかぽか」開設準備。3月末開所予定がコロナ感染拡大により室内の活動を休止。 9月から現在まで、できる限りの感染対策をとりながら、外で活動する「どんぐりん」、親子のための菜園造り、菜園プログラム、子どもDIYクラフト・昔あそびなどを実施。

団体情報
住所：　〒231－0833
横浜市中区本牧満坂166
TEL：　045－622－3695
Mail：　sotoikukai@gmail.com

★助成した事業・活動
子育て支援
★内容
幼児対象の外遊び「どんぐりん」、
親子のための菜園、子どもとDIY活動
★助成対象
感染対策費、広報費、物品購入費等

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

子育てを応援する地域作りの重要性は改めて言う事もない中で、「親子がゆるく集える場」「土に親しみ親子で農体験できる菜園作り」へと動き出した矢先、4月にコロナ感染緊急事態宣言となり活動は停止しました。

6月以降、少しずつコロナ対策を行うことで活動再開が可能となりました。しかし実際に･･？具体的に･？･と見通しが立てにくい時に、助成金窓口を訪ねたことが、活動の可能性を見出すキッカケになり、改めて会を整え、進める方向性が見えてきました。

小さな空間で小さな集まりですが、助成金をいただけたことに感謝して、少しでも皆さんの益になるように輪を広げていきたいと考えています。

青少年育成支援の会（横浜市）　代表　三宅　哲夫
助成金額　12,800円

団体紹介

設立年月
2018年4月

団体の目的・活動内容
主として小学生、中学生を対象とした無料の学習支援を活動目的とする。加えて、教室に通う子どもたちのニーズに応えて、低額で食事を提供する活動を行う。

活動歴
２０１９年１２月より、きくなみんなのひろばで毎週２回学習支援教室を開催している。
また、2020年６月より、月１回食事の提供を行っている。

団体情報
TEL：　080－3074－7062
Mail：　tex.miyake@gmail.com
ＵＲＬ：
http://www.ne.jp/asahi/shien/gakushu/

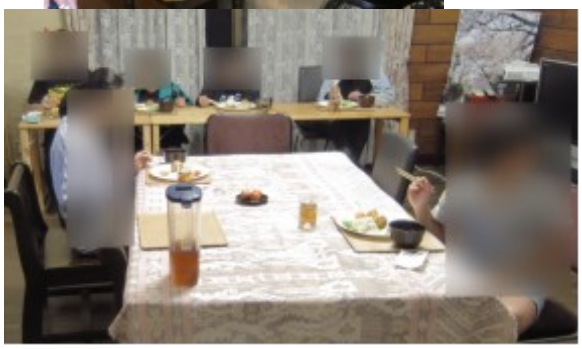
★助成した事業・活動
無料学習支援

★内容
学習と食事の支援

★助成対象
感染対策費

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

本会は設立からの年月が浅いため活動実績は乏しく、限られた年間予算の中で学習支援や食事支援を行っております。昨年１月以降、世界を席巻した新型コロナウイルスのパンデミックに対処するべく身近なところから対策を講じ、当初予算にはない出費を余儀なくされていたところで、貴財団の緊急助成によるご支援を頂いて大いに助けられました。大変感謝いたしております。税金を財源とする公的な支援に比べて、個人や企業の醵金を財源とする財団法人等のご支援は、時宜を得て迅速に適切に実施されていることを実感いたしました。
感染対策が施された環境の下で、新型コロナウイルスの脅威に対して警戒を怠ることなく活動を継続して参ります。どうもありがとうございました。



横浜みどりの学校　ひまわり（横浜市）　　代表　渡辺　正彦
助成金額　100,000円

団体紹介

設立年月
2011年6月

団体の目的・活動内容
2011年3月までの9年間、横浜市立さつきが丘小学校校長を務めた経験の中で、既存の学校教育で日々苦戦している子供たちを救うことが出来なかった為、地域の方々とｵｰﾙｲﾝｸﾙｰｼﾌﾞ教育、得意を伸ばし、公立学校と連携しつつお金のかからない教育を目指して「横浜みどりの学校　ひまわり」を設立した。

活動歴
園児から高校生程度までの児童・生徒不登校、学校不信、個性的な子供（発達障がい児童・生徒を含む）、その他公立学校で苦戦をしている全ての児童・生徒を対象に
①居場所づくり（引きこもり防止と他者との関わり方の指導、自己肯定感の確立（自信、自尊感情の育成）
②学習指導（希望者）：原則マンツーマン
③ソーシャルスキル習得指導
④悩み相談（カウンセリング）を行っている。

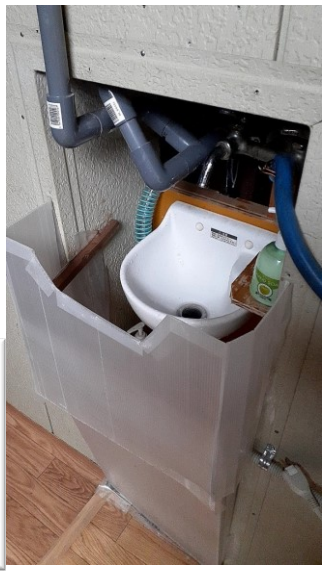
団体情報
住所：〒227-0054
横浜市青葉区しらとり台80
TEL：　090－9201－3992
FAX
Mail：
URL：http://himawari-school.jp/

★助成した事業・活動
地域に根差したボランティアスクール活動
★内容
ボランティアスクールにおける洗面台の増設
★助成対象
材料費、消毒用品

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

本助成を受けることにより、これまで不足がちであった洗面台の増設が可能となりました。洗面台の増設によって、生徒や保護者、ボランティアの方にも一定の安心感が生まれるとともに、現段階ではコロナ感染者の発生を防げている状況です。ボランティアを主として活動しているため、本助成は当校にとり非常に大きなものであります。

今後も不登校、学校不信、個性的な子供（発達障がい児童・生徒を含む）、その他公立学校で苦戦をしている全ての児童・生徒を対象に
①居場所づくり（引きこもり防止と他との関わり方の指導、自己肯定感の確立（自信、自尊感情の育成）
②学習指導（希望者）：原則マンツーマン
③ソーシャルスキル習得指導
④悩み相談（カウンセリング）
を推進し、地域活動に貢献していきたいと考えております。



フリースペースほっぷ（横浜市）　代表　相沢　千代子
助成金額　50,000円

団体紹介

設立年月
2019年8月

団体の目的・活動内容
2013年より未就学親子の広場を運営。 地域に小学生以上の子どもが集える場がない現状を鑑み、親子の広場の運営スタッフ4名で小中学生が気軽に利用できる居場所を作りたいと2019年9月ボランティア団体を設立、同年11月にフリースペースほっぷを開設しました。

活動歴
2019年11月より居場所開催。2020年5月より感染症予防のため、室内の利用を休止し、玄関前スペースにて駄菓子屋を開催。

団体情報
住所：　〒223－0065
横浜市港北区高田西3－2－8
丸正ストアー内
TEL：　問合せ窓口
高田地域ケアプラザ：045-594-3601

URL：　https://freespacehop.seesaa.net/

★助成した事業・活動
子どもの居場所

★内容
地域の子どもたちが気軽に集って安心して過ごせる居場所開催

★助成対象
感染対策費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

子どもが放課後に気軽に立ち寄れる居場所を作ろうと起ち上げた活動ですが、コロナ禍の中ではバザー等イベントの開催も難しく、資金面で苦慮しておりました。今回コロナ対策の助成を頂き、感染予防のための備品を十分に揃えることができました。何より活動を応援していただいているという思いが心強く、とても嬉しいです。

これからも子どもたちの居場所、そして地域の交流の場として活動していけるようメンバー一同思いを強くしております。本当にありがとうございました。

NPO法人夢・コミュニティ・ネットワーク（横浜市）
代表　坂本　寿子　　助成金額　73,700円

団体紹介

設立年月
2000年5月

団体の目的・活動内容
・仲間づくりをキーワードに地域の元気を地域の人と一緒につくります
・子育て支援・地域交流の取り組み、仲間づくり講座や地域イベントの実施等

活動歴
・親と子のつどいのひろば事業2か所の運営
・「コミュニティステーション夢まる」運営
・自治会、商店街や学校等と連携したイベント開催
・地域活動や仲間づくりを応援する企画とコーディネート
・発達障がい理解啓発
・行政・町内会等と連携した担い手育成講座コーディネート
・子ども食堂の開催　他

団体情報
住所：　〒235－0036
横浜市磯子区中原4－26－27－204
TEL：　045-342-7879
FAX：　045-342-7879

Mail：info@yumecomi.net
ＵＲＬ：http://www.yumecomi.net

★助成した事業・活動
子育て世代親子・シニアの居場所づくり
★内容
オンラインによる地域交流事業
★助成対象
物品購入費、消毒用品等消耗品費、ボランティア交通費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今回助成金を受けたことで、地域で孤立しがちな子育て世代・シニア世代を対象に、新しい活動様式として「オンライン講座」をいち早く地域の皆さんと一緒に実施することができました。

実際に活動をすすめていくことで、オンラインに気後れしがちなシニア世代には、まず体験して楽しさを知ってもらう機会の必要性や、「教えてもらう場所がない」「聞ける人がいない」などの課題もみえてきました。また、地域団体から「交流や飲食を伴う活動が難しい」との声を聞き、地元スポーツセンターや、障がい者支援団体、シニアグループのコーヒー会と連携・協働してオンライン講座を実施し、新たな取り組み・つながりが広がりました。“こんな時だからこそ、地域のチカラを発揮していこう！”と地域の皆さんと思いを共有できたことは、今後への大きな励みとなりました。

星が丘一丁目寺子屋（相模原市）　代表　近藤　大助
助成金額　74,000円

団体紹介

設立年月
2020年1月

団体の目的・活動内容
地域の小学生～高校生までの居場所作りとして遊び・学び・生活を教えていく生活塾

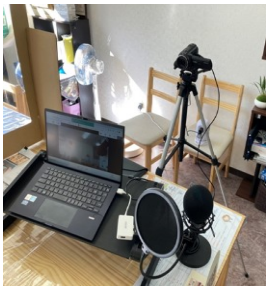
活動歴
星が丘1丁目子どもを星が丘1丁目自治会館にて放課後塾を実施。新型コロナウィルス蔓延により自治会館閉鎖、8月よりパソコン教室にて再開

団体情報
住所：　〒252－0238
相模原市中央区星が丘2－5－20
東宮ハイツ1階
TEL：　042-707-4840
Mail：　info@ds-kondo.pya.jp
ＵＲＬ：http://terakoya01.main.jp/

★助成した事業・活動
学習支援活動
★内容
リモート授業による学習支援
★助成対象
物品購入費、会場費

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

新型コロナウィルス蔓延対策としてのリモート教室のホストの環境が整いました。
今回の助成により少人数ずつならば、対面せずにリモート環境を練習でき、塾の内容も「密」にならないように行うことが出来るようになりました。
またマイクやムービーなどにより講師がアクティブな内容で動いてもオートフォーカス機能が働き、かつ指向性のマイクのため講師のクリアな音声を塾生は確認することができるようになりました。これによりリモート授業の講師と塾生の関係も良好になり受講もコロナ渦での制限はあるが活動が継続できています。



弥平のつどい（横浜市）　　代表　中島　真弓
助成金額　78,980円

団体紹介

設立年月
2017年2月

団体の目的・活動内容
・菊名で地域活動をしている仲間が集まり、月に一度情報交換する場を持つこと。
・地域でおこるさまざまな問題を共有し、解決の糸口につなげるための活動
・地域の特徴を知るための学習会

活動歴
・菊名ご近所文化祭2019開催
・憲法を書き展示する会開催

団体情報
住所：　〒222－0021
横浜市港北区篠原北1－5－5
TEL：　090－3229－4166
Mail：　yahei@galleryspaceyahei.com

★助成した事業・活動
地域交流活動
★内容
菊名ご近所文化祭
★助成対象
広報費、リモート機器レンタル費、感染対策費等

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

人と人とが顔を合わせて交流することの大切さを痛感しています。そんな当たり前のことが全くかなわなかった2020年。どうやったら顔を合わせることを減らして交流することができるのかに悩みました。
中止することも考えましたが、助成を受けることで私たちの進む方向が間違っていないことも確認できて、なんとか開催までこぎつけることができました。ありがとうございました。

お出かけバス

オンライン演奏会

講演会

箱根町無料勉強会　みるふぃ～ゆ（箱根町）　代表　千葉 哲也
助成金額　79,200円

団体紹介

設立年月
2001年10月

団体の目的・活動内容
箱根町内には学習塾がなく、クルマで30分ほどかかる小田原、御殿場、三島の学習塾へ送り迎えが不可能ために通塾をあきらめている小中学生に、学習の機会を提供する。

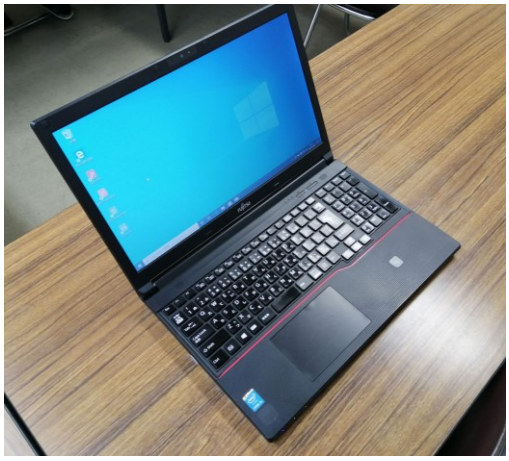
活動歴
町内の集会所などで、1回あたり2時間実施している。2021年は毎週月曜、火曜、金曜の3日間町内の集会所などで無料開催している。（オンライン発信を実施）
https://www.townnews.co.jp/0609/2017/06/23/387687.html

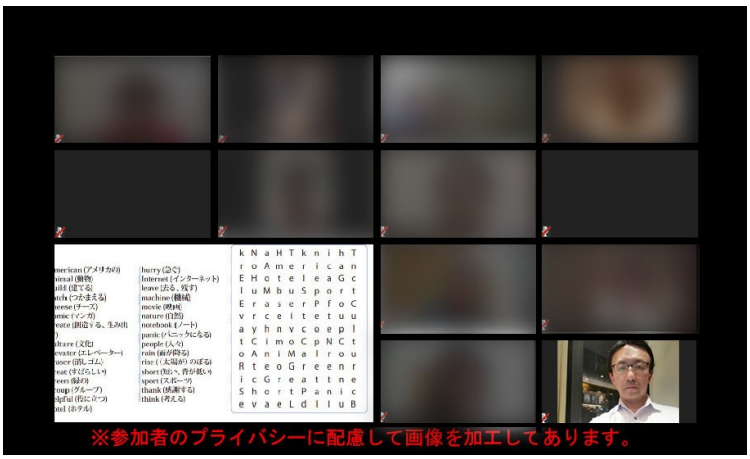
団体情報
非公開

★助成した事業・活動
無料学習支援活動
★内容
ウェブカメラによるオンライン無料指導
★助成対象
物品購入費

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

新型コロナウイルスによって、長時間集まることが困難になってしまい、子どもを集めて学習指導を行えなくなっていました。今回、助成金でウェブカメラ付きのパソコンを購入させていただき、各家庭の子どもへと学習指導をオンラインで実施できるようになりました。受信側は家庭でスマホなどを使って情報を受信してもらっています。また、箱根町内は山間部が多く、夜の走行が危ないので、もともと天気が悪い時などには開催していなかったのですが、オンライン実施にしたことで、天候に左右されることなく開催できるようになったことも良かったです。そのほか、1回あたり2時間の実施ですが、30分だけ参加するなどの工夫もでき、オンライン化によって参加者が増えたのも良い結果と感じています。





ガーデン山まちづくり協議会（横浜市） 代表　鏡原　かなり
助成金額　25,000円

団体紹介

設立年月
2019年9月

団体の目的・活動内容
世代を問わず楽しく安全に暮らせるまちづくりをめざし、世代間コミュニケーションや防災の観点で、 住人が安全・快適に暮らせる街をめざし自治体がカバーしきれない地域を超えた活動などを企画・運営している。

活動歴
2019年度　ガーデン山自治会・ガーデン山子ども会との共同企画でハロウィン行列を実施

団体情報
URL：https://www.lope.co.jp/gm/

★助成した事業・活動
三ツ沢☆ガーデン山ハロウィン2020

★内容
おうちde Happy　Halloween記念品贈呈、おうちde 仮装ビンゴ大会、Instagramフォトコンテスト

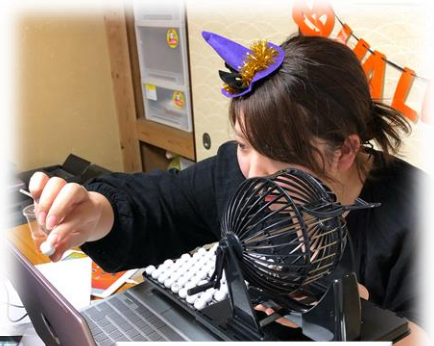
★助成対象
ポスター印刷費、郵送費等

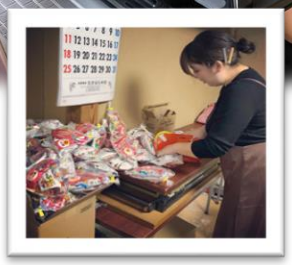
助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍で、子どもたちは一斉休校の中で新しい学年になりました。楽しみにしていた行事のほとんどがなくなり、学校でもお友達との会話や遊びを制限されて暮らしています。

そんな中で密にならずに子どもたちも、子育て中の親御さんも、一緒に楽しめる行事を行うことはできないだろうかと検討を重ね、ICTに強い若いメンバーが中心となって、リモートでできるイベントを企画しました。

コロナ禍なので寄付をお願いして回ることも叶わず、協賛金を募ることもままならない状況でしたが、かながわ生き活き市民基金より助成いただくことができ、なんとか行事を成功させることができました。「あとちょっとの足りない金額をどこから捻出しよう・・・」という状況でしたので、本当に助かりました。





一般社団法人 みんなのレモネードの会（横浜市） 代表 榮島 佳子
助成金額 76,800円

団体紹介

設立年月
2020年4月設立

団体の目的・活動内容
当法人は、小児がんの啓発活動、小児がん患児・きょうだい児・患児家族の支援に関する活動を行い、もって小児がんを取り巻く環境改善に寄与することを目的とし、次の事業を行っています。
（1）小児がん啓発のためのレモネードの販売
（2）小児がん患児等及びその家族を対象とした交流イベントの企画、開催及び協力
（3）小児がん啓発のためのイベントの企画、開催及び協力
（4）小児がん啓発のための印刷物やグッズ等の企画、制作及び販売
（5）小児がん啓発のための講演活動
（6）小児がん患児等及びその家族の宿泊施設、イベント交流施設、飲食店等の運営
（7）小児がんや AYA 世代のがんの経験者等の就労支援
（8）その他当法人の目的を達成するために必要な事業

活動歴
2016年より任意団体として活動を始めた「みんなのレモネードの会」は、2020 年 4 月 15 日 に「一般社団法人みんなのレモネードの会」となりました。小児がん患児家族の立場から、「小児がんのことをもっと知ってほしい」「患児や患児家族で繋がりたい」と、小児がん啓発活動、患児やその家族の交流会などを開 催していましたが、 法人化後 はそ の活動をより幅広く行い、必要な支援を充実させていきたいと思っています。2020 年春からは新型コロナウイルスの影響により、イベントや交流会のオンライン化に取り組んでいます。

団体情報
住所：〒220-0073
横浜市西区岡野1－6－48－402
TEL：非公開
E-mail：makelemonade-37gogo@yahoo.co.jp
URL：https://minnanolemonade.jimdofree.com/

★助成した事業・活動
小児がんを経験した児童と家族の当事者会
★内容
小児がんを経験した子どもたちがお世話になった小児病棟・施設13か所へクリスマスプレゼントを届ける活動「みんレモサンタ」
★助成対象
プレゼント購入費、郵送費等

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

コロナ禍の中、十分な活動資金が得られない中、助成を頂けたとで、例年通り「みんレモサンタ」の活動を續けることができて感謝しております。参加した子どもたち、ご家族、そしてコロナ禍の中でちりょを続けている子どもたち、それを支えている医療従事者の皆様、そして事務局にとっても心なごむ活動となりました。本当にありがとうございました。

＊＊＊ 今回サンタさんをさせていただいて ＊＊＊
息子が一回りも二回りも成長したと感じました。最初は自分にできるのかな？と不安いっぱいで引き受けたようです。退院してから2年、病気のことは入院中のことは話すことも嫌がり、毎月続く治療のことが精いっぱいで振り返ることもできませんでした 。
新聞社の取材を受け、「入院中はどんな気持ちだった？」の問いに対して息子は「夜寝てしまうとみんなが帰ってしまって、朝起きたら一人やったのがさみしかった」と･･･注射が痛かったとか治療が辛かったということより先にさみしかったという感想が先に出て、言葉を失いました。学校でも病気のことを話したがらないため、今困っていることもあまりお友達に伝えることができなくてしんどいこともありましたが、今回新聞記事を皆に読んでもらいました。
当日は看護師さんや大好きな先生から何度も「ありがとう」と言われ、新聞記事を読んだ方からは「本物のサンタさんに会えて嬉しい。頑張って」と声をかけられて喜んでいました。
日頃「できないこともたくさんあるし･･･」ととにかく自身がなく、やってみたいことにもなかなか一歩を踏み出せないことが気がかりでした。プレゼントを用意したり、取材を受ける頃から、同じ辛さを知っている自分にしかできない役目だと気づき、最後は晴れ晴れとした顔でプレゼントを渡すことができました。このような機会を与えてくださりありがとうございました。引き続き、闘病中の頑張っている子どもたちや小児がん啓発のために、できることを少しずつやっていけたらと思っています。（みんレモサンタお母様より）
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

特定非営利活動法人 ひだまりの森 （横浜市） 代表 林 順子

助成金額 76,800円

団体紹介

設立年月
2006年4月3日

団体の目的・活動内容
・子育て期の母親の支援が子どもの健全育成に繋がると考え、相談を軸に活動。
・年間、電話相談件数1900件以上・ｸﾞﾙｰﾌﾟ相談・対面相談・研修実施
・併せて相談から見えるニーズ・課題を冊子や統計にまとめ情報発信

活動歴
元横浜市乳幼児家庭教育ｾﾝﾀｰ相談員で法人設立。横浜市男女共同参画推進協会受託「子育て期の相談事業(2006.4～2010.3)」の後、自主運営相談室開設、現在に至る。
コロナ禍においても当緊急応援助成第1・2次を受け新型コロナ対応の相談体制を整え、従来の「子育て期の相談」と共に活動を途絶えることなく実施している。

団体情報
住所：非公開
TEL：045-341-3607
Mail：hidamarimori1154@sky.hi-ho.ne.jp
URL：http://hidamarinomori10.blog.fc2.com/

★助成した事業・活動
子育て期の相談事業

★内容
コロナ禍での母親のための対面相談再開事業

★助成対象
ボランティア活動費、講師謝金、感染対策費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

当法人「子育て期の相談」利用者の殆どが子育て中の母親で、育児・家事そして自身の仕事や生き方で悩まれています。その上、コロナ禍により孤立し、虐待や家族との不和など新たな困難が生じています。親子にとっても、法人にとっても厳しいコロナ禍ですが、中止していた対面相談の再開を望む声に当助成により応えられたことは、親の孤立感を軽減し、安心感に繋がっていると実感しています。利用したいと思っていても、実際には様々な制約で対面相談に来ることができない方からも「相談できる場が増えたことは嬉しい。心の支えです」とのメールもいただきました。このような活動への信頼を得ることができたことは財産であり、助成をいただけたことに感謝しています。

グループ相談の様子

対面相談の様子

グループ相談ワーク→

親と子の寺子屋ふれあい自遊塾（平塚市） 代表　加藤　啓子

助成金額　67,600円

団体紹介

設立年月
2015年10月

団体の目的・活動内容
いじめ、暴力など増え続ける子供の諸問題の予防と軽減、回復を目的に、親子仲間と楽しくかかわる機会を提供、心の育ちを応援する。活動の中心は遊びのエッセンスが凝縮されるボードゲームを活用した心理教育的体験活動。プログラムは臨床心理士グループが企画構成している。

活動歴
公民館、ひらつか西海岸デポーで定期的に活動、夏休みゲーム大会の開催、子どもの発達成長には遊びが必須であるとの啓発活動として地域イベントに積極的に参加、出張ワークショップ、ゲーム貸し出しと販売、エッコロ講座、個別相談など

団体情報
住所：平塚市（非公開）
TEL：070-2629-1986
Mail：jiyujyuku.koyurugi@gmail.com
URL：　http://jiyujyuku.main.jp/main/

★助成した事業・活動
いじめ、不登校などの予防、遊びの重要さを啓発、研修、相談事業

★内容
電話・メールによる相談事業、ゲーム貸し出し、医療・保育関係者親子無料ゲーム大会

★助成対象
広報費、通信費、物品購入費

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

コロナ禍により学校が休校となった3月、私たちはボードゲームの無料貸し出しを始めました。遊ぶことが制限された子どもの心への影響を心配したからです。さらに心身への負担軽減を願って臨床心理士による電話相談を実施、手探りでできることをやってきました。感染拡大した今は、療養後復帰に際しての心のケアが重要として専門機関が提供する啓発動画などをブログ、チラシで紹介しています。

ゲームの貸し出しは、親から「久しぶりに子どもと遊んで楽しかった」「集中し考え積極的な子どもに成長を感じた」、子どもから「幸せ」「元気になった」といった感想があり感動的でした。

コロナ禍が将来の人間関係に及ぼす負の影響を残さないよう、わずかでもピンチがチャンスに変わる支援をしたいと思います。1，2次に続き3次の助成金、ありがとうございました。

特定非営利活動法人 湘南DV サポートセンター　（藤沢市）

代表　瀧田 信之　　助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
1999 年4 月

団体の目的・活動内容
専門家とユースリーダーの協力により、女性、子ども、障がい者、外国人等幅広い分野で暴力の被害者支援、暴力防止を中心とした人権に関する広報啓発及び教育普及活動を行うとともに、人権意識の向上、次世代の人材育成を推進し、もって人権の擁護、男女共同参画社会の形成等の公益の推進に寄与することを目的とする団体である。

活動歴
（1）広報啓発事業①「それ、恋愛じゃなくて DV です」（WAVE 出版 2009 年 4 月）出版②情報発信
（2）人材育成・研修教育事業①ユースリーダー養成②講師派遣・専門家対象研修③野外体験プログラム
（3）コミュニティ支援・連携事業①高齢者向け避難誘導員養成講座②総務省委託 暴力防止ワークショップ③支援者のネットワーク構築④神奈川県・文部科学省委託 いじめ防止プログラム指導者養成講座
（4）被害者支援・相談事業

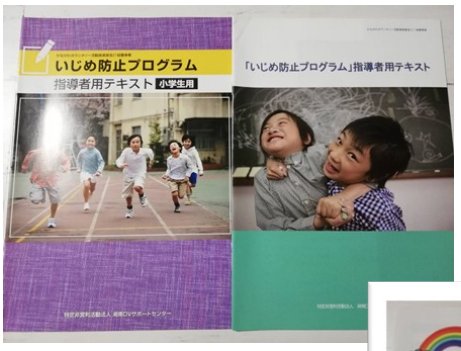
団体情報
住所：〒251-0044
藤沢市辻堂太平台 2-2-3-102
TEL：　090-4430-1836
Mail：tryton@kodomo-support.org
URL：http://kodomo-support.org/

★助成した事業・活動
DV被害者支援
★内容
いじめ防止プログラム・ファシリテーター養成講座
★助成対象
印刷費、会場費、ボランティア活動費など

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、個人も家庭も学校も会社（行政も）も社会全体が予定より早くオンラインでのコミュニケーションを受け入れざるを得ない状況になってしまいました。しかし、全ての人にインターネットというインフラが普及しているわけではなく、この“新しい日常”から取り残されていく人や組織が一定数いることも事実であり、その意味では“誰も取り残さない“　“持続可能な開発”という目標が達成できなくなる可能性があります。

新たな“社会的弱者”を生まないために社会システム全体で達成する支援は勿論のこと、より細やかな支援を構築し、孤立する個人、家庭、学校、会社への支援を実行していきたいと感じると同時に実態のあるコミュニケーションとのハイブリッドが大切になると痛感しています。



↑いじめ防止プログラム
指導者テキスト

パンフレット→

ファシリテータ養成講座対面講座の様子

特定非営利活動法人 ファミリア（横須賀市） 代表　高橋　嘉誉

助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
2018年9月（任意団体は2010年）

団体の目的・活動内容
この法人は、知的障害及び発達障害を持つ子供と家族を支援すること、支援の質を発展向上させること、および地域の人々を啓発し、理解ある地域社会を作ることをめざし、多世代多種多様な人々がそれぞれにできることで役割を持ち、協力し合える仕組みや場所、機会を作り、暮らす人々が心豊かで感謝と思いやりの気持ち、そして信頼感でつながる社会を作ることを目的とする。

活動歴
知的障害と発達障害の子と家族の支援活動である「トータスキッズ」、多世代・多様な人が共に支え成長できる社会の仕組みづくりとその実践活動を行う「SMILE LABO」という2つの活動から構成される。

団体情報
住所：〒239-0842
横須賀市長沢1-32-11
第5新星ビル302号室
TEL：　046-874-7676
Mail：　info@npofamilia.com
URL：　http://www.npofamilia.com　（ファミリア）
http://www.ts-kids.com（トータスキッズ）

★助成した事業・活動
発達障害の子どもと親の支援、アドボカシー活動

★内容
知的障害と発達障害の子どもと家族へのオンライン療育支援

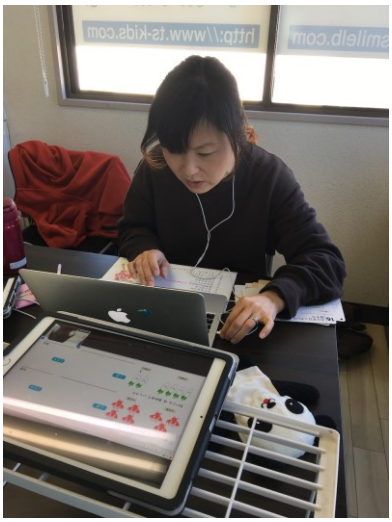
★助成対象
通信費、広報費、相談人件費など

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

緊急事態宣言は解除されたものの、園、学校等、急な予定変更が苦手な発達障害の子どもたち、そしてそれを支えるご家族は、不安定な毎日を送られています。特に、新生児を抱えるご家族は、感染リスクを考えるとなかなか外に出ることができず、辛い思いをされていました。今回のオンライン支援は、そうしたご家族に安定した支援を届けるためとても有効だったと感じています。

また、第2次の支援で対応した、アルゼンチンのご家族がようやく帰国することができ、私たちの事業所に訪問してくださいました。アルゼンチンでは、緊急事態宣言時、子どもは外出禁止で、外に出ると通報を受けるような厳しさだったそうです。そうした危機感迫る日常の中で繋がったことにとても感謝をされていました。何かの時に頼れる場がある。皆様の支援のおかげでその役割を果たすことができたと感謝しています。

まだまだ先が不透明な毎日ですが、地域の受け皿になれるよう引き続き支援を続けたいと思います。この度はどうもありがとうございました。



NPO法人 しえんのまなび舎（平塚市） 代表　髙梨　聡美

助成金額　32,406円

団体紹介

設立年月
2019年12月

団体の目的・活動内容
課題をもつ子どもの支援者や保護者に対して子どもがそれぞれに合った支援のヒントを提供する活動に関する事業を行い、子どもたちの健全な育成に寄与することを目的としている。

活動歴
①子育て懇談会事業
②支援のヒントを学ぶ、学習会・講演会事業
③自立に向けての相談事業
④個別相談
※保護者・支援者の思いから就労移行支援事業所と協働してペガサス就職塾を開設

団体情報
住所：〒254-0014
平塚市四之宮2丁目24番17号
TEL：　0463-54-5197
Mail：　sien.manabiya@gmail.com
URL：　https://sienmanabiya.jimdofree.com

★助成した事業・活動
発達特性のある子どもの保護者などへの、子育て懇談会、学習会の開催

★内容
「セルフケアとマインドフルネス」を学ぶ講演会

★助成対象
講演会開催費用など

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ渦で、私たちが支援している、発達特性がある子どもの保護者や教育者、支援者はそれぞれ不安な日々を送り、相談や話し合いができる場がなくなってしまい、皆さん困っていました。

今回助成して頂いたことで、実際の講演会が開催できて、一応に、皆さんほっとされたようでした。そして、今までの活動から自尊感情が低くなり、子どもに対して、自分に対してもイライラとしてしまうことが多くなっていることがよく分かり、何とかしなければならないと、「自尊感情を高める」「メンタルヘルス」に特化した講演会をすることになりました。

このことを通して、「セルフケアができること」「マインドフルネスに取り組むこと」に今年度力を入れて取り組んでいます。現在は、講演して頂いた内容を、日常の支援場面で活かしたり、子育てサロン（毎週土曜日ハッピーサロン）の中で実践したりしています。

虐待やDVなどがコロナで増えていると言います。特に、発達特性のある子どもの子育ては、大変なものです。保護者や教員・支援者に寄り添い、活動をしていきたいと今回の事業を通して強く思います。このような機会を与えて下さった助成に感謝申し上げます。

認定NPO法人 アール･ド･ヴィーヴル（小田原市） 代表　萩原 美由紀

助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
2013年8月

団体の目的･活動内容
障害がある子どもから大人までを対象にアート活動を中心としたワークショップを毎月10回提供。障害があっても自分らしく生きることを追求できる場を提供している。2016年4月には、障害者就労継続B型事業所を開所。アートで社会とつなぐ活動を続けている。

活動歴
障害がある方を対象としたアートワークショップ、ヨガ、英会話、陶芸、料理など毎年100回の場を提供。自分らしく生きる展覧会（10回）、映画上映会「かすかな光へ」「みんなの学校」「ニーゼと光のアトリエ」、「地蔵とリビドー」 、東京湾岸ウォールアートプロジェクト、箱根クラフトハウス壁画制作、神奈川県「ともに生きる社会かながわ憲章」普及啓発イベント「みんなあつまれ」ロゴ制作、2019ラグビーワールドカップオーストラリアワラビーズ応援フラッグおよびパッカー車ペイント制作、2019かながわSDGsパートナー登録、2019重度障害がある人のためのアートワークショップ、アウトリーチ開催。2021年4月に生活介護と就労B型の多機能型施設を開所予定。

団体情報
住所：〒250-0055
小田原市久野906アネシスヒルズ102

Mail：　info@artdevivre-odawara.jp
URL：　http://artdevivre-odawara.jp

★助成した事業･活動
障害者就労継続B型事業所
★内容
アール･ド･ヴィーヴル展 in奥津 国道美術館展覧会
★助成対象
展示費、広報費、通信費等

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

この度は助成をいただいたおかげで展覧会を開催できました。
コロナ禍で障害がある人たちが、ご自宅でどんな創作をされていたのかを紹介するリアルな展覧会を広く一般の方へ向けて発信することで、一人でも多くの方が、障害がある方の日常に目を向け、知るきっかけになったと思います。
障害があるなしに関わらず、自分らしく生きることを共感できる社会になることを願って、これからも具体的なアクションを継続してまいります。

一般社団法人 湘南学校教育研究所（藤沢市） 代表　橋本 佐紀子

助成金額　100,000円

団体紹介

設立年月
2018年5月

団体の目的・活動内容
（目的）
当団体は非営利型一般社団法人として、子どもの心身の健全な育成を図るとともに、いじめや差別のない社会の実現のため学校教育の発展を目指し、社会全体の利益に貢献することを目的とする。
（活動内容）
人権擁護啓発事業（いじめ防止に関する授業・研修、貧困と虐待に関する講演・研修、男女共同参画と性に関する研修）、相談・コンサルテーション事業、支援者養成事業、放課後児童クラブ指導員・部活動指導員などを対象とした教育プログラム開発事業

活動歴
相談支援活動・人権理解啓発活動・他機関との研究活動を主とし、人権研修は、教育機関（小中学校・高等学校・大学）40 校/年、企業・行政 30 回/年行っている。相談業務は、児童生徒・保護者だけでなく、医療従事者・教職員・経営者からも受けている。

団体情報
住所：　〒251-0044
藤沢市辻堂太平台1-15-6
シーサイドテラス壱番館C
TEL：　070-3839-8308
Mail：　shonshon0390@gmail.com
URL：　https://sise01.webnode.jp/

★助成した事業・活動
相談支援活動、人権理解啓発活動

★内容
子どもを持つ母親等を対象としたオンライン相談事業

★助成対象
SNS管理費、相談ボランティア交通費

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

相談支援活動を通して、誰かに早めにこぼしていればスムーズに解決できることも、養育者が一人で抱え込むことにより親子ともに苦しくなる状況を多く見聞きしてきました。さらにコロナ禍において他者とのリアルな関りが減ることにより、芸能人の自死により注目された産後うつが加速しているとも言われています。

養育者にとって『相談する』ことは友達に愚痴をこぼすこととは違い、心理的ハードルが高いと捉えている様子が伺えます。そこで、コロナ禍において孤独や不安を抱いている子育て中の方々へ向けて、子育てのヒントとともに「あなたは一人じゃない」「辛いって言ってもいい」「会えなくても繋がることができる」というメッセージを届け、皆様の声を聴く活動を行ってまいりました。助成を受け活動を續けることで、お悩み相談のほか「癒されました」などの感想も届くようになりました。

このような活動を継続できますことを、心より感謝しております。

特定非営利活動法人 DV対策センター （横浜市）

代表　穂志乃　愛莉　　助成金額　100,000円

団体紹介

設立年月
2020年3月
（個人相談業務は、2018年1月より開始）

団体の目的・活動内容
当団体は、全ての女性と子供たちが夢と希望を育んで生きられる社会を目指して、活動しています。主に、DV・虐待被害者（以下被害者とする）に以下の救済支援を行っています。①DV・虐待被害の相談・心身の健康を取り戻すためのケア支援 ②対象者が避難するための支援　　④被害者が自立していくための支援（役所等への手続き代行、衣食住の支援、就業・就学支援 ⑤月に一度、母子家庭やDV被害者のための食品配布会の開催 ⑥その他、被害者の心身の健康・安全にかかわるすべての支援を行っております。

活動歴
8月までに相談13件、LINE相談26件、電話相談23件、Zoom相談3件、対面相談8件ありました。シェルターは、23名が利用しました。7月より、毎月第三日曜日に、無料食品配布会の開催（偶数月青葉区社会福祉協議会にて、奇数月ラフェリーチェにて開催。2021年3月まで催行決定）2021年10月新規シェルターOPEN予定。ママ向け就業支援2名、お子さん向け就学支援3名。

団体情報
住所：　〒227-0033
横浜市青葉区鴨志田町807番地5
TEL：　080-7821-4660
Mail：　dv.taisaku@gmail.com
URL：　dv.taisaku@gmail.com
LINE ID：dvtaisaku（ディータ）

★助成した事業・活動
DV・虐待被害者支援、生活困窮者支援
★内容
食品配布会・無料相談
★助成対象
人件費、会場費、消耗品費

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

DV・虐待被害者は、潜在的には多いものの、なかなか声をあげられない、という課題があります。 食品配布会を行い、専門のカウンセラーを常時2～3人配置し、丁寧に話を聞くことに心掛けています。DVで逃げたい人だけでなく、DVで逃げたけど離婚してもらえない、養育費がもらえない等の悩みも多く聞いております。必要な方には避難のための道筋を示したり、弁護士先生に繋いだりなど、問題解決のために向けた提言をさせていただくこともあります。それをきっかけとして、新しい人生に向けて、大きな一歩を踏み出した方もいらっしゃいます。

当方では、コロナ対策を万全にしたDV・虐待被害者の方のための避難施設も運営しております。現在、地域の小中学校や様々な地域団体さんとの連携を深めています。今後DV・虐待に関するお悩み等ございましたら、是非お繋ぎいただけましたら幸いです。

食品配布会の後はママ向けカウンセリングやお茶会を開催。 バーベキューやアート体験などの講座は子どもたちに大人気。

リンパ浮腫ネットワークジャパン（横浜市） 代表　岩澤 玉青

助成金額　100,000円

団体紹介

設立年月
2019年11月

団体の目的・活動内容
「リンパ浮腫」は、乳がんや婦人科がん等の治療後に発症する後遺症で、難治性疾患です。
リンパ浮腫ネットワークジャパン（リンネット）は、リンパ浮腫に関わるすべての人が、困ることなく笑顔で安心して過ごせる社会を目指して、患者支援と治療環境改善を実現するために昨年設立されました。
準備期間を経て春から活動をスタートし、仲間と出会い経験や知恵などを共有しながら支え合うおしゃべり会「なかまカフェ」や、正しい情報を学ぶ「リンパ浮腫セミナー」、リンパ浮腫に関係するがん患者会・支援団体や医療者が交流(ネットワークを構築)し、共に協力しあって活動できる関係づくりの場としての「ネットワーク・ラウンジ」などを開催しています。また、リンパ浮腫の「ワンストップの情報提供」を目指して、ポータルサイトの立ち上げを準備中しています。

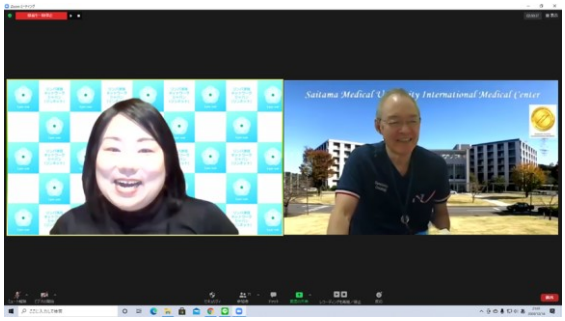
活動歴
2019年11月 団体設立
2020年5月 リンパ浮腫セミナー（アメリカ乳がん卵巣がん患者支援団体SHAREと共同開催）
6月・7月 なかまカフェ開催
8月 ネットワーク・ラウンジ（2日にかけて2回実施）
9月 リンパ浮腫セミナー「乳がんとリンパ浮腫」

団体情報
住所：　非公開
Mail：　lymnet.lnj@gmail.com
URL：
https://www.facebook.com/LymphedemaNetworkJapan

助成した事業・活動
リンパ浮腫患者支援、情報提供、治療環境改善
★内容
コロナ禍における動画配信サービスの構築
★助成対象
動画提供システム構築に関する費用、講師謝金等

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

この度は、リンパ浮腫ネットワークジャパン（リンネット）の活動にご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。
新型コロナウイルス感染拡大につき、感染リスクの高いとされるがん患者さん向けの企画をすべてオンラインに切り替えて実施しています。立ち上げたばかりで資金力のない私たちにとって、この助成のおかげで、リンパ浮腫で悩む人たちとオンラインで円滑につながり、正しい情報を学ぶことができるようになりました。寄付をいただいた皆様のお気持ちが生かされるように、これからもしっかりと活動に取り組んで参りたいと思います。本当にありがとうございました。



先生とのセミナー勉強会

聖マリアンナ医科大学病院乳がん体験者の会マリアリボン（川崎市）

世話人　堀内　美保　　助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
2013年5月

団体の目的・活動内容
活動内容聖マリアンナ医科大学病院と関連病院の乳がん体験者のために、おしゃべり会、医師による勉強会、イベント（リンパ浮腫、運動、手作り、アピアランス）クリスマス会など参加人数は3787人（9月18日現在）

活動歴
毎月のおしゃべり会（89回）、勉強会（42回）テーマ別おしゃべり会（15回）クリスマス会（7回）世話人研修（2回）手作り会（5回）運動イベント（4回）リンパ浮腫イベント（2回）アピアランスイベント（2回）

団体情報
住所：　〒216-8511
川崎市宮前区菅生2-16-1
聖マリアンナ医科大学病院
がん相談支援
URL：
http://www.mariannau.ac.jp/hospital/kanja/sinryou/sinryoushisetsu_10/sinryoushisetsu_10/gansaron_06.html

★助成した事業・活動
乳がん患者の院内当事者会

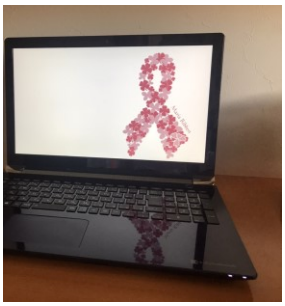
★内容
オンラインおしゃべり会、勉強会、クリスマス企画

★助成対象
物品購入費、通信費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

2013年5月より、院内患者会として、病院での対面のおしゃべり会、勉強会などを開催してきました。参加者延べ3892名。オンライン開催への切り替えは、様々な困難がありました。今まで病院開催では、必要なかった費用がたくさんかかります。毎月のズーム有料会費、世話人ボランティア自宅のパソコン、Wi-Fi、マイク付イヤホンなどです。患者会オンライン開催のために様々自宅に揃えるのは、世話人それぞれコロナで不安な中、本当に大変です。新型コロナ緊急応援助成により、たくさん助けていただきました。また、クリスマス企画（医療関係者31名の写真付メッセージを乳がん体験者に郵送）は、驚くほど好評でした。
寄付をしてくださっている皆様の思いを大切に受け止め、これからも乳がん体験者の方のために出来ることを探し、取り組んでいきます。ありがとうございました。

ﾏﾘｱﾘﾎﾞﾝ特製 先生からのメッセージファイル



特定非営利活動法人 かまくら笑ん座（鎌倉市） 代表 伊藤 裕美
助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月
2015年3月

団体の目的・活動内容
障害を持つ当事者の家族を対象とした支援活動を親主催で行なうことを目的に、親達が立ち上げた団体で、平成27年3月にNPO法人化し、障害福祉サービス事業(就労継続支援B型・就労移行支援)の事業所「笑ん座カフェ」を開設。オリジナル商品の製作・販売、カフェでの飲食提供(ランチ営業)などにより、働く場や社会との接点を提供し、障がい者の「じりつ(自立＆自律)」を支援。

活動歴
・笑ん座カフェ: 飲食提供
・en cafe:喫茶提供及びクリーニング取次
・物造工房:オリジナル商品の製作など

団体情報
住所: 〒247－0074
鎌倉市城廻423－121
TEL: 0467－33－4083
Mail: enzacafe@kamakura-enza.or.jp
URL: https://www.kamakura-enza.or.jp/
https://ameblo.jp/enzacafe/

★助成した事業・活動
障害福祉サービス事業（就労継続支援B型・就労移行支援）

★内容
「en cafe」でのクリーニング保管事業

★助成対象
除加湿空気清浄機の購入

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

クリーニングの保管サービスについては、現時点では、利用数の増加にはつながっておらず、就労機会の増加にはつながっていません。しかしながら、春以降の衣替えの季節には、必ず増加するものと期待しています。お客様に衣類や布団を安心して預けていただくためには、倉庫内の環境整備は必須であったため、助成金をもとに設備を購入でき、大変感謝しています。

MACHI ECO便については、保管している商品を安心してお客様に届けることができています。現在は、緊急事態宣言によりサービスを休止していますが、解除された後は、速やかに再開します。このサービスでは、利用者は、事業所から徒歩で外出することになりますが、お客様と直接接することで、社会とのつながりを意識でき、歩くことで、身体面、ひいては精神面での健康につながっています。

本当にありがとうございました。

en cafe

en café クリーニング受付と保管場所除湿器

PD トライ（川崎市）　代表　三橋　尚子
助成金額　97,100円

団体紹介

設立年月
2019月6月

団体の目的・活動内容
・パーキンソン病患者が当事者として主体的に企画、運営し、自分達が必要だと思うこと、楽しく気持ちが前向きになれることを、皆で定期的に行える場の提供を目的とする。
・難病パーキンソン病の患者同士が集まり、
1）同じ病気だから安心して話し、耳を傾け合えるピアカウンセリングを実施。
2）発症早期ほどリハビリは有効と推奨されているにもかかわらず、運動する施設が無いため定期的に体操や運動する場を提供する。
3)会員が必要と思うことを皆で実現するように共に努力したり、楽しんだりする。

活動歴
月に一度指導者の元、対面式で1時間30分行う体操教室が活動の柱であった。他には講師を招き「病気を知る、学ぶ」セミナーを隔月開催していました。（気功入門、先輩パーキンソン患者の体験談、生活の中での工夫、家族の立場から、上手な体の使い方/キネシオロジー）

団体情報
住所：〒211－0004
川崎市中原区新丸子東3-1100-15 S1313
TEL：080-5412-7898
Mail：himawari@pm-sf.tepm.jp
ＵＲＬ：
http://kawasaki.genki365.net/gnkk09/pub/sheet.php?id=141511
ポータルサイト「応援ナビかわさき」掲載中

★助成した事業・活動
パーキンソン病患者当事者主体の健康増進活動
★内容
コロナ禍での活動継続に向けた環境整備
★助成対象
備品購入費、講師謝金、ボランティア交通費

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

先ずこの度は私共の活動にご理解、ご協力頂き、助成くださいましたこと御礼申し上げます。

パーキンソン病は御周知のとおり進行性の難病で、投薬と同じくらい体を動かしたり、人とのコミュニケーションを図ることが重要と言われています。自宅内自粛が叫ばれる中、急速に体調を崩す患者も多いと耳にします。私達患者にとっては、コロナウイルスに感染するのと同じくらい持病の悪化も恐ろしいのです。　方法はひとつ。コロナには逃げることなく、万全の対策で対応し、いつものペースをなるべく保ち明るく、楽しく過ごすこと。その為の万全の対策に助成金を活用させていただきました。

また、コロナ禍のなかであっても、対面式定例会にこだわった活動をしようと皆で話合い、時には意見を戦わせる中で、会の進むべき方向なども自ずと定まってきたように思います。

今後は、より地域に密着した、体調重視の無理のない会を地道に続けて行こうと思います。

これからもこの会の継続をしていくことをより強く皆で認識出来た3ヶ月でした。

年明けもコロナ禍でまだまだ活動の制限はありますが、PDトライはこれからも、疾患と闘いながら、参加している中、少しでも皆が元気で心身を癒やせる活動の場として、皆で盛り上げて続けて行きたいと思っております。

スタートして数ヶ月、会費だけが運営資金の私たち患者会が、未曾有のコロナ禍の中で消えることなく、活動を続けることが出来たのは、かながわ生き活き市民基金の助成金の力なくしては考えられませんでした。この度ご支援頂きました事、改めましてPDトライ一同、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

特定非営利活動法人 神奈川県中途失聴・難聴者協会（二宮町）
代表　森　友彦　　助成金額　92,600円

団体紹介

設立年月
1980年11月

団体の目的・活動内容
神奈川県内在住の難聴者、中途失聴者をはじめ広く聴覚障害者全般に対して、福祉の増進と生活・文化の向上を図る事業を行い、地域社会の発展に寄与することを目的としています。

活動歴
- 会報を年4回発行し、活動の報告やお知らせなどの情報を発信しています。
- 月1回程度、例会（交流会、講演会、学習会など）を開催し、会員等の相互交流や聴覚障害等に関する理解を深めています。
- 中途失聴・難聴者向けの手話勉強会を行っています。
- 他団体との事業協力や交流を行っています。（要約筆記者養成、センターまつり等）
- 中途失聴・難聴者からの問い合わせ、相談等をお受けしています。

団体情報
Mail：　jinn.nannchou@gmail.com
ＵＲＬ：　https://jinnancho.org/

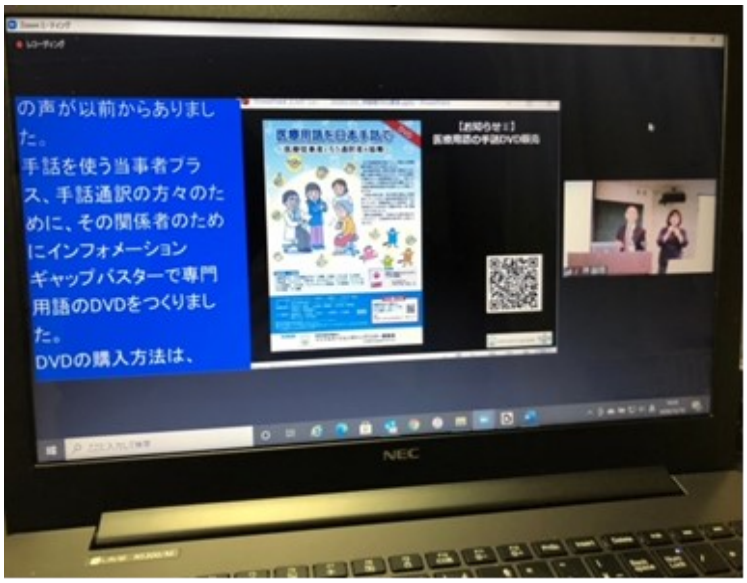
★助成した事業・活動
中途失聴・難聴者への支援活動

★内容
Net119緊急通報システムおよび火災予防に関する勉強会、UDトーク（コミュニケーション支援アプリ）勉強会「電話リレーサービス（手話や文字と音声のオペレーターによる通訳）」講演会の開催

★助成対象
物品購入費、講師謝金、ボランティア活動費

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

私たち聴覚障害者の多くは耳から入る音だけでなく、合わせて口形などを目で見ることで、話を理解します。しかし、このコロナ禍の状況で社会的にマスクの着用が必須となっていることから、口元が見えず、生活の様々な場面でコミュニケーションを取るのに苦労しています。また、オンラインによるイベントの開催が増えている中で、なかなか情報保障（文字情報等）がしっかり準備されているイベントが少ないです。この助成事業のおかげで、情報保障（文字情報等）を準備したオンラインによるイベントを開催することができ、聴覚障害者やその支援をされている方（会員ではない方も多く参加されました）に有益な情報を届けることができました。また、オンラインではありますが、久しぶりにお会いできた方もいらっしゃいます。財政的に余裕のある団体ではないため、このような支援が受けられて大変感謝しております。



特定非営利活動法人 外出支援サービスワーカーズ・コレクティブ ハミング（伊勢原市）　代表　土山　由美子

助成金額　85,830円

団体紹介

設立年月
2001年4月

団体の目的・活動内容
1人で外出することが困難な高齢者や障がい者への車を使っての支援

活動歴
通院や買い物等の日常生活維持、特別支援学校通学、趣味やお楽しみのための外出支援。高齢者施設への送迎を受託している。

団体情報
住所：　〒259－1114
伊勢原市高森3-12-16
TEL：　0463-92―9032
FAX：　0463－91－2945

★助成した事業・活動
外出支援サービス

★内容
外出介助サービスに関する経費補助事業

★助成対象
駐車場代、車両保険料

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

2020年3月以降、新型コロナウイルス感染症のため緊急事態宣言発令等外出を抑制せざるを得ない状況が続き、外出支援サービスハミングの事業は、大きな打撃を受けました。定期的な通院が必要、あるいは欠かせない透析や難病等の患者さんの外出支援は継続しましたが、高齢者デイサービスへの送迎受託事業は大きく減少し、外出支援事業の全体の実績は厳しい状況となり、現在まで続いています。

しかし、当団体が車いす利用者のための福祉車両2台を確保し続けるためには、駐車場や保険、定期点検等維持管理費を捻出し続けなければならず、私たちは窮地に立たされました。そのような時にW.Co連合会から市民活動における経常経費も助成対象とする『かながわ生き活き市民基金』の募集情報が伝えられ、助成を受けることができました。コロナ禍にあっても外出支援のニーズは高まり続けていることを実感しています。基盤がぜい弱な当団体のようなNPO等をいざという時に支える当基金の助成事業は、強い味方であると感じました。

ユーコープ　くらしたすけあい活動「ちょボラ」（横浜市）
代表　炭竈　正子　　助成金額　100,000円

団体紹介

設立年月
2006年6月

団体の目的・活動内容
ちょっとしたボランティア「ちょボラ」は『おたがいさま』を基本に困った時に地域で支えあう有償ボランティア。高齢者のみならず、障害者、子育て支援、病気、けがの方も対象に、神奈川県全域でユーコープの組合員の枠にとらわれず活動している。

活動歴
2006年「くらしたすけあいの会」発足。有償ボランティア「ちょボラ」活動開始。
2012年「くらしたすけあい活動」と名称変更。
2019年度　ボランティア数320名（男性31名）、総活動時間12475.5時間神奈川県の80%のエリアで活動。
2020年3月末から7月末まで感染症対策として活動休止。8/1から再開。
2021年1月ボランティア数164名。

団体情報
住所：　〒221－0865
横浜市神奈川区片倉1－16－3
ユーコープ片倉店　3階
TEL：　045-594-7570
FAX：　045-594-7571
Mail：　tasukeainet@ucoop.or.jp

★助成した事業・活動
地域のたすけあい活動
★内容
くらしたすけあい活動「ちょボラ」ボランティア交流会開催
★助成対象
会場費、広報費、消耗品費

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

3月の緊急事態宣言を受けて4か月間活動の休止、これはくらしたすけあい活動が発足してから初めての事態でした。休止中も日々の暮らしの困りごとを助けてほしいという声が多く、くらしたすけあい活動の必要性を痛感しました。

8月からの活動再開にあたり、感染症拡大予防ガイドラインを作成し、依頼者、ボランティア双方の体調チェックを徹底しましたが、この新しい体制を全員に伝えることに大変苦労しました。

助成を受けて開催した全体交流会では、コロナ禍での活動の注意事項や必要書類について詳しく説明でき、質問にも答えられ、よい機会となりました。また全員にマスクを配布しました。

コロナの影響でボランティアは半減してしまいましたが、引き続き活動してくださるボランティアのためにより良いサポート体制を作って、今後の末永い活動につなげて行きたいと思っています。くらしたすけあい活動に助成をいただきまして、ありがとうございました。

ボランティア活動の様子

特定非営利活動法人 エキープ（横浜市） 代表　藤岡　住世
助成金額　76,800円

団体紹介

設立年月
2017年6月

団体の目的・活動内容
・障害者の就労支援・生活支援を行うことで、その自立を目指します。
・その為にカフェの運営、請負作業、自主製品の生産、販売などを行っています。

活動歴
・ドキュメンタリー映画「そばにいるよ」上映会
・パパママのための障害者就労勉強会
・フードプレゼンテーション　あおば
・アオバリュージョン2020

団体情報
住所：　〒227－0067
横浜市青葉区桜台36－10

TEL：　045－513－2942
URL：　https://equipe-yokohama.com/
TVK
https://www.youtube.com/watch?v=-JTpe6E632U&list=FLXRCo__KBGEahAyHJWlTn3A&index=1

★助成した事業・活動
障がい者支援（就労継続支援B型事業所）
★内容
B型事業書継続運営のためのマスク生産
★助成対象
ミシン、アイロン等物品購入費、ボランティア謝金

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

昨年6月に福祉業界素人が開所した特定非営利活動法人エキープ、B型事業所　桜台メゾンです。知的・精神障害者を中心に現在8名の利用者が通所しています。（来春新卒者2名の入所も決まっています）

生活のリズムが崩れるとパニックになる障害者が多く、福祉事業所はコロナ禍でも対策を行いながら運営を続けることが医療関係同様に求められています。

毎日の生活のリズムを保ちながら　事業所で作業をする喜びを高めるために、今回の助成金を使わせていただきました。

今回、開所から初めて助成を受けることができ、新しいミシンが届いたときに利用者が喜んだ姿が忘れられません。多くの支援に支えられて運営している事業所です。日中は自主製品以外にもカフェの営業をしております。コロナ禍でこちらの運営も厳しいですが、皆さま　お近くにお越しの際は是非ご来店ください。

皆さまの厚意が活かされるよう頑張ります。ありがとうございました。

TVK「ハマナビ」取材

あおばチャリティーコンサートにてマスク販売
→

←
助成金で購入したミシンは動きもスムーズ
楽しく仕事ができます

NPO法人 子供の人権を守る会（相模原市）　代表　新飯田　塁
助成金額　41,000円

団体紹介

設立年月
2018年3月

団体の目的・活動内容
子供の人権の尊重、児童虐待防止、不当な親子断絶を無くすために、周知し認識してもらえるように日々活動を行っています。

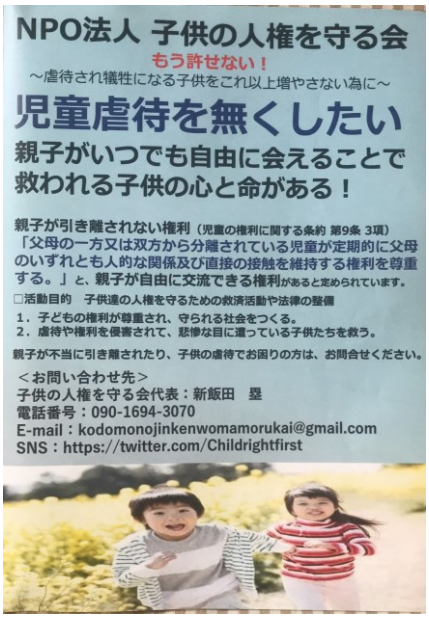
活動歴
・実態調査（警察署、児童相談所、市役所、子ども家庭支援センター等訪問）
・電話取材（児童相談所、厚生労働省）
・周知活動(YouTube、Facebook、Twitter、LINEブログ等）
・児童虐待防止対策に関する連携の要請、意見書、要望書、請願書、陳情書等の提出

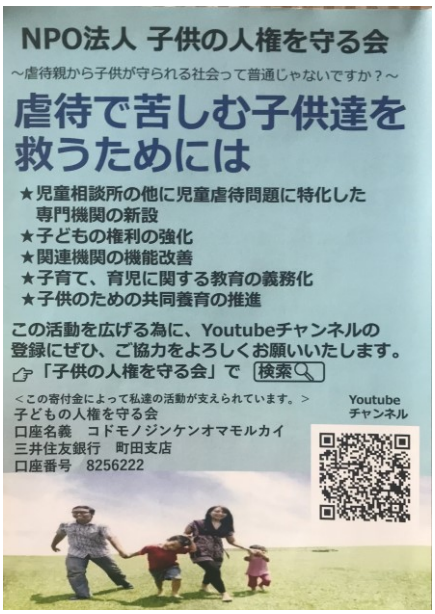
団体情報
住所：　〒252－0235
相模原市中央区相生4－11－3
ミッシェルホームズ208
TEL：　090-1694-3070
ＵＲＬ：
https://oyakonokizunawomam.wixsite.com/kodomonojinken

★助成した事業・活動
子供の人権を守るためのアドボカシー活動
★内容
YouTubeによる動画配信
★助成対象
通信費、会場費

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

この度は助成金を交付いただきありがとうございました。
私共にとって初めての申請であり、手探りの状態でした。いただいた助成金を趣旨に則り活かすために、会のメンバーで話し合いを行い、よりコロナ禍において適した使い方を心掛けました。感染に注意しつつ活動を継続することが出来ました。
現在のコロナ禍も未だ出口が見えず、本来の活動が出来ない状況ですがその中、今回の助成金はとても有益なものとなりました。
今後とも宜しくお願い致します。





NPO法人ワーカーズ・コレクティブ　ケアびーくる（大和市）
代表　奥平　ます美　　助成金額　100,000円

団体紹介

設立年月
1998年5月

団体の目的・活動内容
お一人で外出できない移動制約者（高齢者・障がい者等）の、外出時の困難や不安を解消し社会参加の促進が図られることを目的としています。 車を使用した送迎だけでなく、病院での付添、買物の付添、墓参や旅行、外出先の食事介助やトイレ介助・ベッドから車いすへの移乗・車いす介助、身の回りのお出かけ準備など、あらゆるお出かけをお手伝いします。

活動歴
- 1998年外出介助サービスを開始。翌1999年NPO法人となる。
- 2003年に大和市は「有償運送特区」に認定。全国に先がけ福祉車限定で許可を取得し、翌年にはセダン特区の認定も受け、マイカーの有償運送も開始した（80条許可）
- 2007年6月より道路運送法第79条の自家用有償旅客運送者として3年ごとの登録更新を行い、現在に至る。
- 大和市とは「大和市新しい公共を創造する市民事業促進条例」に基づき、2003年に「協働事業協定書」を交わし、爾来3年ごとに更新を続けている。（17年間） 2006年より、「福祉車両助成事業」協定書を交わして活動している。現在までの利用者は計1880名にのぼる（2020年12月末）。

団体情報
住所：　〒242－0002
大和市つきみ野4－5
つきみ野ビレジ　B－2　205
Mail：　yamato.wa1998@gmail.com
ＵＲＬ：http://care-vehicle.org/

★助成した事業・活動
外出支援サービス

★内容
移動制約者（高齢者・障がい者）の外出支援サービス

★助成対象
車両維持費

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

この度は、「新型コロナ対応緊急応援助成」をいただき、誠にありがとうございました。新型コロナ感染拡大に伴い、感染予防の観点からの外出自粛、通所先の一時閉鎖、通院サイクルの変更など、当団体の利用状況は変化し、大きな影響を受けました。事業高減少率が僅かにとどかず、公的助成の対象範囲からはずれ、また、介護保険事業や障害者総合支援事業にはかかわっていないという位置づけから、市からの支援をうけることができない状況に直面しました。そのような状況下であっても、活動に必要な車両を維持していかなくてはなりません。

一般には新たな取り組みを実施するための助成事業が大半を占める中、「市民事業の基盤造成・活動支援」を目的とした貴基金の助成事業は本当に有難く、我々が本当に助けてほしい思いを実現し、活動の基盤を補うことができました。また、感染リスクと隣り合わせの現場でありながら利用者に寄り添い、日々活動を続けるメンバーの励みとなりました。感謝いたします。

新型コロナ感染拡大が収束し、外出支援が活発に出来、利用者さんの笑顔に出会えるように、事業を維持継続する努力を続けてまいります。

ぐるーぷ･ちえのわ　ちえのわ第2ホーム（横浜市）
代表　奥山　雅子　　助成金額　60,000円

団体紹介

設立年月
2009年4月

団体の目的･活動内容
団体の母体「ぐるーぷ・ちえのわ」は1987年に障害児の親子、地域の有志、教員などが中心になり設立された民間のボランティア団体で、地域でキャンプや遊びの集いなどの活動を続けてきた。「まなぶ・あそぶ・つくりだす」を合言葉に、障害のある人もない人も共に生き生きと活動ができる場をつくることをめざしている。
2009年の第２ホーム設立時より、発達障害児・不登校児童生徒の学習支援、余暇活動支援、居場所作り・保護者の相談活動を主として行ってきた。地域のいろいろな年代の方を対象とした染め、陶芸、織物などのアート活動等を行っている。

活動歴
ちえのわ第2ホームでは、特別な支援を必要とする　子供たちへの学習支援（ちえのわ寺子屋）不登校　児童生徒への学習支援（ちえのわルーム）。小集団　での余暇支援活動（ちえのわサロン）、保護者の方への相談活動などを行っている。これまでの活動に対して、平成30年12月に「障害者の生涯学習に係る文部科学大臣表彰」を受けている。

団体情報
住所：　〒244-0044
横浜市戸塚区小雀町1115　ちえのわホーム
TEL：　090-1251－0776（代表　奥山雅子）
現在ホームページ作成中

★助成した事業･活動
発達障害児･不登校児童生徒の学習支援
余暇活動支援

★内容
障害のある子どもたち、不登校野子どもたちのアート活動

★助成対象
講師謝金、講座受講料、ボランティア活動費等

助成をうけて･･･の思い･メッセージ

この度、緊急応援助成金をいただき、陶芸や染物などの活動に、子どもたち、青年たちが参加することができ、貴重な体験ができました。コロナ禍で、私たちの団体も、これまで行っていた小集団の余暇活動も行えない状況が続いていました。今回の助成のことを知り、ひきこもりがちな青年や、不登校の子どもたちを中心に、参加のお誘いをしました。日頃できないような活動の提供と、ゆっくりと1対1での対応もできて、新たな道が開けたような気持ちです。特に、助成金のおかげで、廉価な参加費で本格的な陶芸や藍染めができたこと、また外部の講師をお願いできたことなど、とてもありがたく思います。

自分の手でオリジナルな作品を作り出すことの楽しさを、どの参加者も体験できたように思います。楽しい体験の積み重ねが、自信や自己肯定感につながり、生きる力につながることを願ってやみません。

陶芸に取り組む様子と作品

藍染のバンダナづくり

寄付文化の拡がりに皆様のご協力を
～市民基金を支える寄付方法～

「賛助会員」として応援する

公益財団法人かながわ生き活き市民基金は、助成事業、研修・セミナー事業、相談・助言事業、広報発行事業の4つの事業を行っています。当財団を継続的に支援してくださる「賛助会員」を募集しています。（賛助会費は当財団の運営に活用されます）

賛助会費は当財団への寄付となり、税制優遇措置の対象となります。

【年会費】

◆個人会員（1口 1,000円）1口以上

◆法人・団体会員（1口10,000円）1口以上

【特典】

◆各種報告書の送付（年次報告書、助成団体報告書「福祉たすけあい基金Book」、フォーラム報告書）

◆ 当財団が企画開催するイベントへのご招待（フォーラム、贈呈式等）

【お申込み方法】

◆ゆうちょ銀行から振込

記号番号　00250-0-72370

ザイ）カナガワイキイキシミンキキン

◆ゆうちょ銀行以外から振り込み

ゆうちょ銀行　店名：〇二九店

口座番号：0072370

ザイ）カナガワイキイキシミンキキン

※通信欄に「賛助会費」とご記入ください。

「福祉たすけあい基金」への寄付で応援する

◆基金の用途

皆様より戴いたご寄付は、「福祉たすけあい基金」の原資として蓄積し、神奈川県内で福祉・たすけあいの市民活動や事業を行う団体・市民グループへの助成金としてお届けいたします。

なお、寄付金の35%は助成等を行うための法人運営費用として大切に使わせていただきます。

◆寄付金額

1年間1口1,200円となります。1口単位でご寄付可能です。

◆お申し込み方法

寄付の方法は、「口座引落(継続)」「口座振込(単年)」（左記、賛助会員と同じ口座）「現金書留」よりご希望の方法をご選択ください。

詳しくはホームページをご参照ください。

税制優遇について

- 当財団は公益法人です。公益法人への寄付は、税制上の優遇措置が受けられます
- 個人の方は所得税、住民税が控除の対象となります。
- 法人の方は1年間の寄付の総額の一定額を、損金に算入することができます。
- 詳しくは、お近くの税務署等にお問い合わせください。

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金
Kanagawa Lively Citizens Fund

発行：公益財団法人 かながわ生き活き市民基金

〒222-0033　神奈川県横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル６Ｆ

Tel：045-620-9044　　Fax：045-620-9045

Mail：info@lively-citizens-fund.org

URL：　http://www.lively-fund.sakura.ne.jp

Facebook：http://www.facebook.com/livelycitizensfund

発行日：2021 年 3 月 31 日　　発行部数：800 部